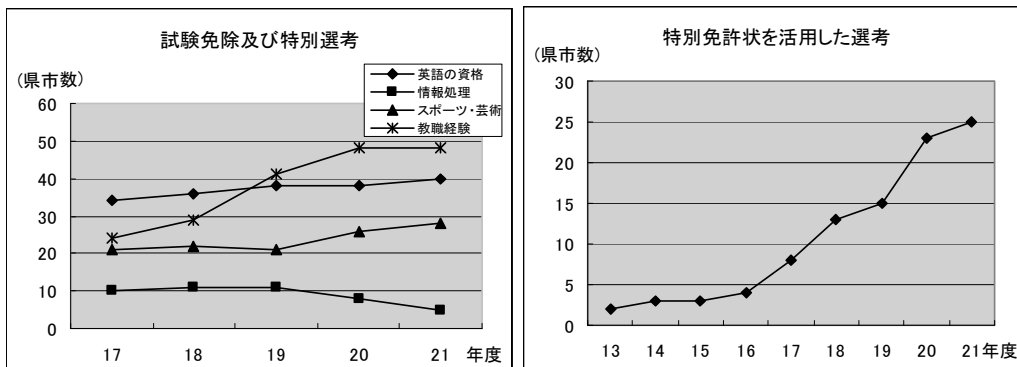


3 試験免除・特別選考等

試験免除及び特別選考の実施概要

平成21年度選考試験において、特定の資格や経歴等を持つことによる一般選考における試験免除や特別選考をしたのは62県市であり、うち試験免除は50県市(前年度45県市)、特別選考は50県市(前年度46県市)で実施した。また、特別免許状を活用した選考は、25県市(前年度23県市)で実施した。

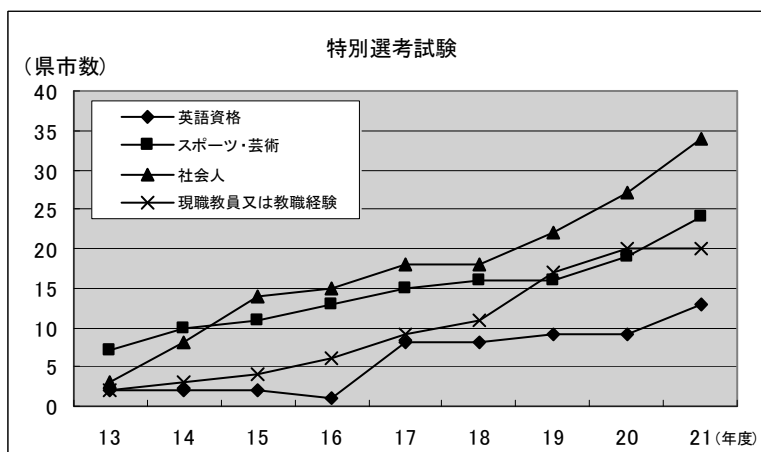


(1) 特定の資格や経歴を持つことによる試験免除

特定の資格や経歴を持つことによる試験免除のうち、英語の資格によるものは27県市(前年度29県市)、教職経験によるものは35県市(前年度28県市)、前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによるものは15県市(前年度8県市)など、その他特定資格を有する者について免除を実施する県市があった。

(2) 特別選考

特別選考のうち、英語の資格によるものは13県市(前年度9県市)、スポーツ・芸術での技能や実績によるものは24県市(前年度19県市)、社会人特別選考によるものは34県市(前年度27県市)、教職経験によるものは20県市(前年度20県市)など、その他特定資格を有する者について特別選考を実施する県市があった。



資格や経歴等の例	選考方法	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除・特別選考															特別免許状を活用	
		一部試験免除・特別選考	何れかの一部試験免除※ ₁		何れかの特別選考※ ₁		英語の資格		スポーツ・芸術での技能や実績		国際貢献活動経験		社会人経験		教職経験			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
参照ページ																		
1 北海道	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
2 青森県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
3 岩手県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
4 宮城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
5 秋田県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
6 山形県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
7 福島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
8 茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
10 群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
11 埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12 千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
13 東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
14 神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15 新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
16 富山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
17 石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
18 福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19 山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
20 長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
22 静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24 三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
25 滋賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
26 京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
27 大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28 兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
29 奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
30 和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
31 鳥取県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
32 島根県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
33 岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
34 広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
35 山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
36 徳島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
37 香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
38 愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
39 高知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
40 福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
41 佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
42 長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
43 熊本県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
44 大分県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
45 宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
46 鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
47 沖縄県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	

資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除・特別選考																特別免許状を活用		
	選考方法	一部試験免除・特別選考	何れかの試験免除※1		何れかの特別選考※1		英語の資格		スポーツ・芸術での技能や実績		国際貢献活動経験		社会人経験		教職経験				
			一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考			
			73 ページ 参照	107 ページ 参照	81 ページ 参照	111 ページ 参照	83 ページ 参照	134 ページ 参照	100 ページ 参照	118 ページ 参照	84 ページ 参照	128 ページ 参照	145 ページ 参照						
48 札幌市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49 仙台市	○	○	—	○	○							○	○	—	○	○			
50 さいたま市	○	○	○							○	○				○	○			
51 千葉市	○	○	○	○	○										○	○			
52 川崎市	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○		
53 横浜市	○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
54 新潟市	○		○				○	○				○		○	○	○	○		
55 静岡市	○	○	—												○	○	—		
56 浜松市	○	○													○	○			
57 名古屋市	○	○		○	○		○	○							○	○			
58 京都市	○	○	○	○	○		—			○	○	○	○		○	○		○	
59 大阪市	○	○	○							○	○	○		○	○	○			
60 堺市	○	○	○							○	○	○		○	○	○	○	○※2	
61 神戸市	○	○	—							○	○		○	○	○	○	—	○	
62 広島市	○	○	○												○	○		○	
63 北九州市	○	○		○	○										○	○			
64 福岡市	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	62 (-)	50 (45)	50 (46)	40 (38)	27 (29)	13 (9)	28 (26)	6 (7)	24 (19)	16 (-)	4 (-)	13 (-)	39 (-)	6 (-)	34 (27)	51 (48)	35 (28)	20 (20)	25 (23)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()は前年度の数値である。また、(-)は、前年度に集計していないことを表す。

※1 「何れかの試験免除」「何れかの特別選考」は、上記「英語の資格」「スポーツ・芸術での技能や実績」等以外の資格や経歴等による試験免除、特別選考を実施しているものも含む。

※2 単一の選考方法を意味しており、かつ、「一部試験免除」「特別選考」両方に掲載しているもの。

(1) 特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除

試験免除のための資格や経歴等	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除									特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度
	一部試験免除	英語の資格	情報処理に係る資格	スポーツ・芸術での技能や実績	国際貢献活動経験	教職経験	前年度の採用候補者名簿掲載者であること	前年度第1次試験(第2次試験)合格者であること	その他	
		73ページ参照	80ページ参照	81ページ参照	83ページ参照	84ページ参照	94ページ参照	96ページ参照	100ページ参照	
1 北海道	○	○	○			○			商業に係る資格	
2 青森県	○					○				
3 岩手県	—					—				
4 宮城県	○	○	—			○	○	—	社会人経験	
5 秋田県	○	—	—			○		—		
6 山形県										
7 福島県	○	○								
8 茨城県	○	○		○	○	○				
9 栃木県										
10 群馬県										
11 埼玉県										
12 千葉県	○	○				○				
13 東京都	○	○				○	○	—	大学推薦 社会人経験	
14 神奈川県										
15 新潟県										
16 富山県	○							○		
17 石川県	—	—								
18 福井県	○	○		○	○	○				
19 山梨県										
20 長野県	○				○	○				
21 岐阜県	○					○		○		
22 静岡県	○					○				
23 愛知県	○						○	—	大学推薦	
24 三重県	○	○	○							○
25 滋賀県	○	○				○				
26 京都府	○	○				○		○		
27 大阪府	○					○		○	大学院進学者対象 社会人経験	
28 兵庫県	○					○		○		
29 奈良県	○							○		○
30 和歌山県	○	○		○		○		○		
31 鳥取県	○						○	—		
32 島根県	○					○				
33 岡山県										
34 広島県	○							○		
35 山口県	○	○				○		○		
36 徳島県	○	○					○			
37 香川県	○	○								
38 愛媛県										○
39 高知県	○	○								
40 福岡県	○	○	—			○		○		
41 佐賀県	○					○				○
42 長崎県	○	○		○		○				
43 熊本県	○					○				
44 大分県	○	○	○							
45 宮崎県	○	○				○				
46 鹿児島県	○	○		○						
47 沖縄県	—							—		

試験免除のための資格や経歴等	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除									特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度
	一部試験免除	英語の資格	情報処理に係る資格	スポーツ・芸術での技能や実績	国際貢献活動経験	教職経験	前年度の採用候補者名簿掲載者であること	前年度第1次試験(第2次試験)合格者であること	その他	
参照ページ		73ページ参照	80ページ参照	81ページ参照	83ページ参照	84ページ参照	94ページ参照	96ページ参照	100ページ参照	103ページ参照
48 札幌市	○	○	○			○			商業に係る資格	
49 仙台市	○	○	—			○	○	—	社会人経験	
50 さいたま市	○						○	—		
51 千葉市	○	○				○				
52 川崎市	○								前年の採用選考結果	
53 横浜市										
54 新潟市										
55 静岡市	○					○				
56 浜松市	○					○				
57 名古屋市	○	○		○		○				
58 京都市	○	○		—		○		○	社会人経験 博士号取得者	
59 大阪市	○					○		○		
60 堺市	○					○		○	大学院進学者対象	
61 神戸市	○				○	○			社会人経験	
62 広島市	○							○		
63 北九州市	○	○				○				
64 福岡市	○	○				○		○		
	50 (45)	27 (29)	4 (7)	6 (7)	4 (-)	35 (28)	7 (-)	15 (8)	12 (-)	4 (-)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()は前年度の数値である。また、(-)は、前年度に集計していないことを表す。

(1)ア 英語の資格による一部試験免除

北海道

対象となる 校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の英語							従来から
資格要件	① 実用英語技能検定1級、準1級合格者 ② 国連英検特A級、A級合格者 ③ TOEFL PBT550点(CBT 213点、iBT79点)以上取得者 ④ TOEIC 730点以上取得者							
資格要件の 確認方法	資格証明書又は、出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合は、第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
免除される 試験科目	一次検査: 英語専門検査(I) 二次検査: 英語実技検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		32	9	1			42
	平成21年度受験者数(名)		52	75	1			128

宮城県

対象となる 校種・教科	中学校英語, 高等学校英語							従来から
資格要件	①英検1級 ②TOEIC 920点以上 ③TOEFL(-PBT) 615点以上 ④TOEFL(-CBT) 260点以上 ⑤TOEFL(-iBT) 105点以上 ※英検以外の資格については、平成18年5月9日以降に取得したものに限る。							
資格要件の 確認方法	資格取得証明書(開封無効)または資格を証明できる書類の写しを提出させて確認。							
免除される 試験科目	第1次選考の筆記試験2の専門教養を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)		4	9				13

福島県

対象となる 校種・教科	中学校 高等学校 特別支援学校中等部及び高等部の英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEFL590点以上、TOEIC880点以上							
資格要件の 確認方法	証明書のコピー							
免除される 試験科目	教科試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)		3	13				16

茨城県

対象となる 校種・教科	中学校・高等学校の英語							従来から
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、次の①から③のいずれかの要件を満たす者 ① TOEFL 600点以上(コンピュータ形式250点以上、インターネット形式100点以上)取得者 ② TOEIC 900点以上取得者 ③ 実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者							
資格要件の 確認方法	資格を証明する書類(写し)の提出							
免除される 試験科目	第1次試験のうち、英語の専門教科試験及び口述試験(英会話)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)			5				5

千葉県

対象となる校種・教科	中・高共通英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL590点(CBTの場合240点、iBTの場合95点、ITPテストは不可)以上取得者又はTOEIC860点以上取得者のうちいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定証の写し(コピー)を提出							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に替わる試験	小論文が1題多くなり、2題となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		28※					28
※ 受験者数は、中高共通の募集。								

東京都

対象となる校種・教科	中高共通/英語、特別支援学校/中学部・高等部/英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEIC900点以上、TOEFL(PBT)600点以上、TOEFL(CBT)250点以上、TOEFL(iBT)100点以上のいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	第一次選考時(第一次選考免除者は、別途郵送による)に、証明書(合格証等)の写しを提出							
免除される試験科目	第二次選考・実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		4	11	2			17
	平成21年度受験者数(名)		41		2			43

福井県

対象となる校種・教科	第2次選考の専門教科試験を英語で受験する者							従来から
資格要件	実用英語検定1級合格者、TOEFL600点以上の者、TOEIC900点以上の者							
資格要件の確認方法	資格証明書の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							6
	平成21年度受験者数(名)							11

三重県

対象となる校種・教科	中学校教諭「英語」、高等学校教諭「英語」							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級合格者 「TOEFL」PBT 600以上、iBT 100以上、CBT 250以上の人 「TOEIC」860以上の人							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、1次試験当日に原本確認							
免除される試験科目	第1次選考試験の筆答試験(専門)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		3	1				4
	平成21年度受験者数(名)		4	8				12

滋賀県

対象となる校種・教科	中学校および高等学校の英語受験者							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL550点(PBT)または213点(CBT)以上の取得者(平成18年7月以降の取得者に限る)、TOEIC780点以上の取得者(平成18年7月以降の取得者に限る)は、希望により専門教科の試験を免除する。							
資格要件の確認方法	志願書の「資格」欄にその資格の内容を明記し、併せて実施団体の発行する資格証明書の写しを同封する。また、第一次選考の筆記試験の日に資格証明書の原本を提出する。							
免除される試験科目	専門教科							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		13	10				23

京都府

対象となる校種・教科	中学校英語、高等学校英語							従来から
資格要件	TOEFL580点(CBTの場合は237点)以上取得者、TOEIC860点以上取得者又は実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級合格者のいずれかに該当する方							
資格要件の確認方法	資格を証明できる書類を第1次試験(筆記試験)当日に持参させて確認している。							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち専門教科							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		7	24				31

和歌山県

対象となる校種・教科	中学校・英語(高校・英語)							従来から
資格要件	過去2年間に、実用英語検定1級、TOEIC800点以上、TOEFL570点(CBTの場合は220点)以上							
資格要件の確認方法	得点等を確認できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	一次検査の筆答検査(校種・教科専門)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)		15					15

山口県

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・外国語(英語)							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL PBT590点以上(CBT243点以上、iBT97点以上)取得者、TOEIC860点以上取得者							
資格要件の確認方法	志願時に、証明書類の提出により確認。なお、写しの場合、第1次試験当日原本を提出させ確認する。							
免除される試験科目	英語における筆記試験のうち一部							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	4				5
	平成21年度受験者数(名)		2	10				12

徳島県

対象となる校種・教科	中・高 英語							従来から
資格要件	実用英語能力検定1級合格者、TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上取得者(ただし、ITPテストの結果を除く)、TOEIC816点以上取得者(ただし、iTPテストの結果を除く)							
資格要件の確認方法	志願時に認定証の写しの提出(2次審査時に原本確認)							
免除される試験科目	英語実技審査免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	4				5
	平成21年度受験者数(名)		6	19				25

香川県

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語、特別支援学校中学部・英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級合格者 TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上 TOEIC850点以上							
資格要件の確認方法	資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出させ、1次試験の際に原本を確認							
免除される試験科目	英語専門教養試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)		5	15				20

高知県

対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の英語受審者							従来から
資格要件	次の①～③のいずれかに該当する者 ①実用英語検定((財)日本英語検定協会)1級合格者 ②TOEFL(国際教育交換競技会)PBT580点以上(CBT237点以上)取得者 ③TOEIC((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)800点以上取得者							
資格要件の確認方法	願書出願時に合格証又は得点証明書の写しを提出させるとともに、第1次審査筆記時に原本を持参させ、確認。							
免除される試験科目	専門教養筆記審査(リスニングを含む)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)		3	11				14

福岡県

対象となる校種・教科	中(英語)、高(英語)							従来から
資格要件	英検1級、TOEFL(PBT)590点以上、TOEFL(CBT)243点以上、TOEIC860点以上取得者、又はこれらと同等の資格を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書等を提出							
免除される試験科目	一次の専門教科(リスニングを含む)							
免除された試験に替わる試験	一次で個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)		6	18				24

長崎県

対象となる 校種・教科	中学校・高等学校の英語教諭志願者							従来から
資格要件	実用英語技能検定([財]日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点又はiBT80点(CBT換算213点)以上取得者又はTOEIC([財]国際ビジネスコミュニケーション協会)850点以上取得者。							
資格要件の 確認方法	実施団体の発行する資格証明書(有効期限内、開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しを提出する場合は、確認のため、写しの原本を、第1次試験の初日に試験本部に持参させる。							
免除される 試験科目	専門教科・科目試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2	3	1			6
	平成21年度受験者数(名)		1	12				13

大分県

対象となる 校種・教科	中学英語、高校英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL550点以上取得者(コンピュータ方式は213点以上、インターネット方式は79点以上)、TOEIC730点以上取得者							
資格要件の 確認方法	試験日に資格証明書又は原本を持参							
免除される 試験科目	英語実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2	5				7
	平成21年度受験者数(名)		23	36				59

宮崎県

対象となる 校種・教科	中学校・英語／高等学校・英語							従来から
資格要件	実用英語検定試験1級合格者、TOFEL595点以上(Computer Based Test243点以上)取得者、TOEIC(財団法人ビジネスコミュニケーション協会)860点以上取得者。							
資格要件の 確認方法	合格証の写し又は認定証の写し等、その資格を証明するものを提出。							
免除される 試験科目	教科専門、リスニング実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	2				3
	平成21年度受験者数(名)		2	11				13

鹿児島県

対象となる 校種・教科	中学校英語, 高等学校英語							従来から
資格要件	実用英語検定1級, 準1級, TOEFL 550(PBT), 213(CBT), 79(iBT)点以上取得者, TOEIC 730点以上取得者							
資格要件の 確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される 試験科目	1次試験の英語実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		7	2				9
	平成21年度受験者数(名)		31	40				71

札幌市

実施状況								合計
	小	中	高	特支	養教	栄教		
	平成20年度採用者数(名)		7	1				8
平成21年度受験者数(名)		31					31	

※ 資格要件等については北海道に同じだが、採用者数及び受験者数は北海道と札幌市で計上。
 ※ 高等学校は北海道と共同登録のため、札幌市の人数については計上していないが、「英語の資格による一部試験免除」に係る平成20年度採用者数については、受検区分「中学校英語」登録者のうち高校に配置された1名を計上している。

仙台市

実施状況								合計
	小	中	高	特支	養教	栄教		
	平成20年度採用者数(名)							
平成21年度受験者数(名)		4	9				13	

※ 資格要件等は宮城県に同じ。
 ※ 宮城県と共同で試験を実施し、採用者数は宮城県と仙台市それぞれで決定しているため、受験者数は宮城県と共通であり、採用者数は、宮城県と仙台市でそれぞれ計上。

千葉市

※ 千葉県に同じ。ただし、採用者数は千葉県のみのものであり、千葉市の採用はない。
--

名古屋市

対象となる校種・教科	全校種							従来から
資格要件	実用英語技能検定 1級 TOEFL PBT600点以上 または CBT240点以上 TOEIC900点以上							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
実施状況								合計
	小	中	高	特支	養教	栄教		
	平成20年度採用者数(名)		18	1				19
平成21年度受験者数(名)		26	6				32	

京都市

対象となる校種・教科	小学校及び中学校・高等学校の英語							従来から
資格要件	小:実用英語技能検定準1級以上, TOEFL550点以上(CBTの場合は213点以上), TOEIC730点以上(IPテスト含む)のいずれか 中・高英語:実用英語技能検定1級, TOEFL580点以上(CBTの場合は237点以上), TOEIC860点以上(IPテスト含む)のいずれか							
資格要件の確認方法	各種実施団体が発行する証明書の写しを志願書提出時に提出							
免除される試験科目	小:一般・教職教養筆記試験 中・高:第1次試験の専門試験							
免除された試験に替わる試験	小:リスニング 中・高:なし							
実施状況								合計
	小	中	高	特支	養教	栄教		
	平成20年度採用者数(名)	1	4					5
平成21年度受験者数(名)	14	12	11				37	

北九州市

対象となる校種・教科	中学校・英語 特別支援学校中学部・英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)816点以上の者。又はこれと同等の資格を有する者で特に教育委員会が認める者。							
資格要件の確認方法	資格を証する書類の提出							
免除される	第1次試験の専門教科、実技試験(リスニング)の免除							
実施状況								合計
	小	中	高	特支	養教	栄教		
	平成20年度採用者数(名)							
平成21年度受験者数(名)		1					1	

福岡市

対象となる 校種・教科	中学校及び特別支援学校中学部の英語							従来から
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(PBT)610点以上、TOEFL(CBT)253点以上、TOEIC860点以上、またはこれらと同等の資格を有する人							
資格要件の 確認方法	資格を証明できる書類の原本及び写しの提出							
免除される 試験科目	1次試験における専門教科の筆記試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1					1
	平成21年度受験者数(名)		7					7
※ 高等学校の試験については、福岡県と共同実施								

(1)イ 情報処理に係る資格による一部試験免除

北海道

対象となる 校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の工業・商業								従来から
資格要件	情報処理技術者試験((財)日本情報処理開発協会)基本情報技術者試験合格者(第2種情報処理技術者試験合格者)又は同協会のこの資格と同等以上の資格取得者								
資格要件の 確認方法	資格証明書又は、出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合は、第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。								
免除される 試験科目	一次検査:工業・商業専門検査(I)								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度採用者数(名)			7				7	
	平成21年度受験者数(名)			13	1			14	

三重県

対象となる 校種・教科	高等学校教諭「商業」								従来から
資格要件	日商簿記検定2級以上かつ基本情報技術者試験合格者 公認会計士資格取得者 税理士資格取得者								
資格要件の 確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、1次試験当日に原本確認								
免除される 試験科目	第1次選考試験の筆答試験(専門)								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度採用者数(名)								
	平成21年度受験者数(名)			2				2	

大分県

対象となる 校種・教科	高校商業								従来から
資格要件	基本情報技術者(経済産業省)以上の資格取得者								
資格要件の 確認方法	試験当日に合格証明書又は資格を証明できる書類を持参								
免除される 試験科目	実技試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度採用者数(名)			1				1	
	平成21年度受験者数(名)								

札幌市

※ 北海道に同じ。 ※ 高等学校は北海道と共同登録のため、札幌市の人数については計上していない。

(1)ウ スポーツ・芸術での技能や実績による一部試験免除

茨城県

対象となる 校種・教科	中学校・高等学校の保健体育	従来から
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、次のいずれかの要件を満たす者 ① オリンピック競技大会、アジア競技大会、世界選手権大会又はユニバーシアード競技大会に日本代表として出場した者。ただし、ジュニア選手権等、参加年齢制限を加えた大会を除く。 ② 全日本選手権大会、国民体育大会(成年の部)又は全日本学生選手権大会において、団体又は個人で優勝もしくは準優勝の成績を収めた者(団体競技の場合、正選手として大会に出場した者)。ただし、国民体育大会少年の部等、参加年齢制限を加えた大会を除く。	
資格要件の 確認方法	競技団体責任者等による「スポーツの実績一覧」及び賞状等の写しの提出	
免除される 試験科目	第1次試験のうち、保健体育の専門教科試験及び実技試験	
実施状況		合計
	平成20年度採用者数(名)	6
	平成21年度受験者数(名)	22

福井県

対象となる 校種・教科	第2次選考の専門教科試験を体育(スポーツ)、音楽または美術(芸術)で受験する	従来から
資格要件	スポーツ…国際レベルの大会に日本代表として出場した者、または全国レベルの大会で優秀な成績を収めた者 芸術…国際レベルのコンクールや展覧会で優秀な成績を収めた者、または全国レベルのコンクール、展覧会で極めて優秀な成績を収めた者	
資格要件の 確認方法	大会やコンクールの賞状、成績証明書	
免除される 試験科目	第1次選考試験	
実施状況		合計
	平成20年度採用者数(名)	1
	平成21年度受験者数(名)	6

和歌山県

対象となる 校種・教科	中学校・保体、高校・保体、中学校・音楽	従来から
資格要件	・過去5年間オリンピック等の国際レベルの大会で団体5位以内、個人8位以内、または全日本選手権大会等において1位の成績 ・過去5年間国際レベルの音楽コンクールに出場し、団体で3位、個人で6位以内、または全国レベルの音楽コンクールで1位の成績	
資格要件の 確認方法	順位等を確認できる書類の写しの提出	
免除される 試験科目	一次検査の筆答検査(校種・教科専門)	
実施状況		合計
	平成20年度採用者数(名)	1
	平成21年度受験者数(名)	9

長崎県

対象となる 校種・教科	中学校・高等学校の保健体育教諭志願者	従来から
資格要件	国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた者。	
資格要件の 確認方法	要件にかかる大会の賞状の写し(A4判に縮小)又は競技団体が発行する成績証明書、あるいは日本代表として出場したことを証明する書類を提出すること。	
免除される 試験科目	第1次試験のすべて(教職・一般教養試験、専門教科・科目試験)	
実施状況		合計
	平成20年度採用者数(名)	5
	平成21年度受験者数(名)	6

鹿児島県

対象となる 校種・教科	中学校保健体育, 高等学校保健体育, 中学校音楽, 高等学校音楽, 中学校美術, 高等学校美術							従来から
資格要件	保健体育: 過去3年間に出場した全国レベルの大会における実績で, 原則として次の基準を満たす者 (個人種目) 8位以内の入賞及びそれと同等の記録等 (団体種目) 4位以内で正選手として出場した者 芸術: 過去4年間の全国レベルのコンクールや展覧会等で入選以上の個人成績							
資格要件の 確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される 試験科目	1次試験の体育実技又は音楽実技, 美術実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)		2	5				7

名古屋市

対象となる 校種・教科	全校種							従来から
資格要件	スポーツの分野において、全国的規模以上の競技会で優秀な成績を有する人 芸術等の分野において、全国的規模以上のコンクール・展覧会等で優秀な成績を有する人							
資格要件の 確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される 試験科目	専門試験 実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5	10	1				16
	平成21年度受験者数(名)	8	40	17				65

(1)エ 国際貢献活動経験による一部試験免除

茨城県

対象となる 校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目							従来から
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに、独立行政法人国際協力機構法に基づく青年海外協力隊員として、継続して2年以上の派遣実績を有する者							
資格要件の 確認方法	青年海外協力隊事務局長等による派遣実績証明書及び自己推薦書の提出による。							
免除される 試験科目	第1次試験のうち、一般教養・教職専門の試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1					1
	平成21年度受験者数(名)	1	5	3				9

福井県

対象となる 校種・教科	すべての校種、教科							従来から
資格要件	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として、平成21年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者							
資格要件の 確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書							
免除される 試験科目	第1次選考試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)							14

長野県

対象となる 校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校、高校							従来から
資格要件	青年海外協力隊などの国際貢献活動を平成21年3月31日現在で2年以上経験している者							
資格要件の 確認方法	履歴書(小・中・特支)又は申込書の履歴欄(高)の記入による							
免除される 試験科目	一般教養(教職に関するものを含む)の筆記試験							
免除された 試験に替わる試験	二次選考で2回の面接を行う(小・中・特支)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1						1
	平成21年度受験者数(名)	1	4	5		1		11

神戸市

対象となる 校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、幼稚園							従来から
資格要件	平成20年3月31日現在、法人格を有する同一の民間企業及び官公庁等において、正社員又は正規職員として継続して3年以上の勤務経験又は青年海外協力隊として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の 確認方法	在職証明書等の提出							
免除される 試験科目	教職・一般教養							
免除された 試験に替わる試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	13	3			4		20
	平成21年度受験者数(名)	111	135			39		285※

※ うち5名が「青年海外協力隊としての派遣経験を有する者」として教員採用選考を受験。

(1)オ 教職経験による一部試験免除

北海道

対象となる 校種・教科	高等学校教諭							従来から
資格要件	一般選考の(高等学校)の特例…昭和34年4月2日以降生まれの高等学校教諭で、国立大学法人、北海道外の地方公共団体又は学校法人が設置する高等学校の正規任用職員としての教職経験が、平成21年3月31日現在、引き続き4年以上のものに受検資格。							
資格要件の 確認方法	願書の記載内容及び現在勤務校の職歴証明書を提出させ確認							
免除される 試験科目	一般受検の第一次検査に実施する教養検査、教科に関する専門検査を免除。							
免除された 試験に替わる試験	上記の替わりとして、指導案を作成させる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			16				16
	平成21年度受験者数(名)			23				23

青森県

対象となる 校種・教科	全校種・全教科							従来から
資格要件	現に本県公立学校の教諭及び養護教諭である者							
資格要件の 確認方法	出願書類への記入、2次試験における個人面接							
免除される 試験科目	一般・教職教養 適性検査(内田クレペリン検査)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	2		3				5

宮城県

対象となる 校種・教科	小学校教諭, 中学校教諭, 高等学校教諭, 養護教諭							従来から
資格要件	出願時に, 学校教育法第1条に定められた学校の教諭又は養護教諭に就いている者。							
資格要件の 確認方法	勤務実績報告書を提出させて確認。							
免除される 試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された 試験に替わる試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	7	2	4		1		14
	平成21年度受験者数(名)	59	29	11		5		104

秋田県

対象となる 校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校							従来から
資格要件	他県で現に教諭として勤務している35歳以上の者							
資格要件の 確認方法	志願書							
免除される 試験科目	総合教養							
免除された 試験に替わる試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	2	1		2			5

茨城県

対象となる校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目							従来から
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに、都道府県(茨城県は除く。)又は指定都市が実施する教員採用選考に合格し、現在、正規任用の教諭、養護教諭(いずれも、任期付き採用、臨時的任用及び市(指定都市を除く)区町村採用の場合を除く。)として勤務し、平成20年4月1日現在、3年以上(休職・育児休業等の期間を除く)在職している者 出願できる校種・教科等は、教諭として、勤務実績のある校種・教育課程内の授業を担当した実績のある教科に限る。ただし、科目は問わない。							
資格要件の確認方法	所属長等による勤務実績証明書及び本人の自己推薦書の提出による。							
免除される試験科目	第1次試験のうち、一般教養・教職専門の試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	17	3	1	2	2		25
	平成21年度受験者数(名)	16	2	3	2	1		24

千葉県

対象となる校種・教科	全校種・全教科							従来から
資格要件	①他県等の現職教諭又は本県の元教諭(下のア又はイのいずれかに該当する者) ア 他県等において、現に国公立学校(幼稚園を除く。以下において同じ。)の教諭・養護教諭として平成20年4月1日現在で、2年以上在職する者(任期付以外の正規採用者に限る。) イ 本県の公立学校で教諭・養護教諭として過去に5年以上の実務経験(正規採用に限る)を有する者 ②講師経験者 本県の公立学校において千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭として、平成19年度勤務実績のある者又は平成20年5月1日現在勤務している者で、下のア又はイのいずれかに該当する者 ア 過去3年度(平成17年度から平成19年度)に本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、通算12か月以上勤務した者 イ 千葉県又は千葉市教育委員会が任命する週12時間以上の非常勤の講師・養護教諭として、過去3年度(平成17年度から平成19年度)に通算18か月以上勤務(臨時的任用講師としての勤務期間を含む)した者							
資格要件の確認方法	教職経験者特例調書及び職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	①教職教養と専門教科 ②教職教養							
免除された試験に替わる試験	①小論文が1題多くなり2題となる。 ②なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名) ^{※1}	156	84	24	28	9		301
	平成21年度受験者数(名)	383	546 ^{※2}		64	57		1050

※1 採用者数については千葉県のものであり、千葉市は含まない。

※2 受験者数は千葉県・千葉市を合算したものであり、中学校・中高共通・高等学校は中学校にまとめて記載した。

東京都

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	①他県国公立現職(受験校種・教科経験3年以上)、都経験者(受験校種・教科経験3年以上)、都期限付任用経験者 ②都臨任経験者(受験校種・教科で過去3年に12ヶ月以上)、都準常勤講師(受験校種・教科で前年度認定及び現年度認定又は臨任任用中)、他県国公立臨任(受験校種・教科で過去3年に12ヶ月以上及び現年度も任用中)、							
資格要件の確認方法	東京都以外の国公立学校に在職する者については、所定の様式を提出させる。都公立学校における勤務実績は、人事電算等により確認する。							
免除される試験科目	①別途、個人面接のみ ②第一次選考・択一免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							740
	平成21年度受験者数(名)							1630

福井県①

対象となる校種・教科	すべての校種、教科							従来から
資格要件	現在、他の都道府県の国公立学校に勤務している教諭、または養護教諭							
資格要件の確認方法	在職証明書の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							1
	平成21年度受験者数(名)							52

福井県②

対象となる校種・教科	すべての校種、教科							従来から
資格要件	平成20年度教員採用試験2次選考受験者のうち、当該試験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者							
資格要件の確認方法	在職証明書または講師等経験を証明できる辞令(写し)の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							63
	平成21年度受験者数(名)							416

長野県

対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校、高校							従来から
資格要件	学校、幼稚園で教諭、講師の経験が平成21年3月31日現在で3年以上ある者(講師は、常勤・非常勤を問わない)							
資格要件の確認方法	履歴書(小・中・特支)又は申込書の履歴欄(高)の記入による							
免除される試験科目	一般教養(教職に関するものを含む)の筆記試験							
免除された試験に替わる試験	二次選考で2回の面接を行う(小・中・特支)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	30	22	28	3	4		87
	平成21年度受験者数(名)	313	252	294	46	50		955

岐阜県①

対象となる校種・教科	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭							従来から
資格要件	・他の都道府県の国・公立学校に勤務している教諭で3年以上の経験を有する者。 ただし、現職の校種と同じ校種に限る。(小・中・高・特・養)							
資格要件の確認方法	履歴書							
免除される試験科目	第1次選考試験のうち筆記試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	8	1	1	2			12
	平成21年度受験者数(名)	25	11	4	1	1		42

岐阜県②

対象となる 校種・教科	小学校教諭 中学校教諭 養護教諭							従来から
資格要件	・岐阜県内の公立小中学校で任期付採用職員として勤務している者で、学校長及び市町村教育委員会の推薦を得た者。							
資格要件の 確認方法	推薦書							
免除される 試験科目	第1次選考試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	17	2					19
	平成21年度受験者数(名)	2	1					3

静岡県

対象となる 校種・教科	小学校・中学校全教科・高校全教科・特別支援学校・養護教員							従来から
資格要件	①他県等において、現に国公立学校の教諭として平成20年4月1日現在2年以上在職している者 ②静岡県内の国公立学校で教諭として5年以上勤務経験のある者 ③静岡県内の国公立学校における臨時的任用の講師として、平成19年度に勤務実績を有し、かつ、直近の過去3年度(平成17年度から19年度まで)で通算24か月以上勤務した者。							
資格要件の 確認方法	最終勤務校の所属長による勤務歴証明による							
免除される 試験科目	教職・一般教養							
免除された 試験に替わる試験	課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	39	25	12	39	1		116
	平成21年度受験者数(名)	115	100	108	138	34		495

滋賀県

対象となる 校種・教科	小・中・高・特支							従来から
資格要件	平成21年3月31日現在において、国立大学法人附属学校および公立学校の現職教諭または任用の期限を付さない現職常勤講師(日本国籍を有しない者に限る)で、休職および育児休業の期間を除き、3年以上の教諭・常勤講師の経験を有する者は、希望により第一次試験の一部を免除する。ただし、免除できるのは、3年以上の教職経験が受験する校種・教科・科目と同一の場合に限る。							
資格要件の 確認方法	一部免除を受けた受験者は、合格時に在職証明書を提出							
免除される 試験科目	・小中 一般教養・教職教養、専門教科 ・高校および特支 一般教養・教職教養							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	13	4	1	1			19
	平成21年度受験者数(名)	16	10	4	4			34

京都府①

対象となる 校種・教科	全校種・教科(科目)							従来から
資格要件	他の都道府県及び指定都市の公立学校、国立大学法人が所管する学校並びに府内の私立高等学校の正規の現職教員の方で、昭和39年4月2日以降に生まれた方 ※ただし、現職と同一の校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の 確認方法	志願時の書類で確認							
免除される 試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	6	2	3	1			12
	平成21年度受験者数(名)	25	6	21	5	3		60

京都府②

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)								新規
資格要件	全国の都道府県及び指定都市の公立又は国立大学法人が所管する学校の常勤講師として、若しくは京都府教育委員会が委嘱する週10時間以上の非常勤講師として、平成15年度から平成19年度の間に通算2年以上(実勤務月数として通算24月以上)勤務をした経験がある方 ※ただし、講師経験と同一の校種等を受験する場合に限る。								
資格要件の確認方法	志願時に提出される勤務証明書により確認(非常勤講師については任用台帳により確認)								
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度採用者数(名)								
	平成21年度受験者数(名)	60	85	86	35	19	5	290	

大阪府

対象となる校種・教科	すべての校種・教科								従来から
資格要件	現職教諭:平成21.3.31までに公立学校で通算2年以上の在職経験かつ、H20.4.1現在在職していること。 常勤講師:H19.4.1～H20.3.31までの間に大阪府内の公立学校において講師(非常勤除く)の勤務経験がある人で、H20.3.31までに通算5年以上の勤務経験があること。 実習助手・寄宿舎指導員:大阪府内の公立学校における実習助手又は寄宿舎指導員として、平成20年4月1日現在、在職しているとともに、平成20年3月31日までに同職の勤務経験が通算5年以上あること。								
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、在職証明書提出にて確認。								
免除される試験科目	現職教諭:1次択一式テスト、2次筆答テスト								
免除された試験に替わる試験	常勤講師、実習助手・寄宿舎指導員: 1次択一式テスト免除のかわりに小論文テスト								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度採用者数(名)						---	137	
	平成21年度受験者数(名) ^{※1}	32 ^{※3}	194 ^{※2}	155	26	55	1	754	
※1 受験者数は、1次テスト受験者数及び1次免除者数 ※2 小中共通の受験者は、中学校に算入 ※3 堺市立小・幼共通は小学校に算入									

兵庫県①

対象となる校種・教科	全校種・教科								従来から
資格要件	国立大学法人附属学校及び公立学校の現職の教諭又は養護教諭で、平成21年3月31日現在、2年以上の勤務経験を有する者								
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)								
免除される試験科目	第一次の筆答試験								
免除された試験に替わる試験	教育に関するレポート提出に代えることができる。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度採用者数(名)	31	8	8	1	4		52	
	平成21年度受験者数(名)	63	19	15	14	12		123	

兵庫県②

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	平成18年4月1日から平成20年3月31日の間に、兵庫県内の公立学校(ただし、神戸市立学校を除く)において、常勤の臨時講師として1年以上の勤務経験を有する平成17年度又は18年度実施の本県教員採用試験において第1次筆頭試験を受験し1次試験に合格した者							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第一次の筆答試験							
免除された試験に替わる試験	教育に関するレポート提出に代えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	26	19	9	3	9		66
	平成21年度受験者数(名)	96	73	40	7	13		229

和歌山県

対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校							従来から
資格要件	小学校・特別支援学校の志願者で、過去6年に48月(受検校種での講師経験を含む)の講師経験のある者							
資格要件の確認方法	人事異動通知書(辞令)の写しを提出							
免除される試験科目	一次検査の筆答検査(一般教養・校種教科専門)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	41			6			47
	平成21年度受験者数(名)	88			22			110

島根県

対象となる校種・教科	小・中・特支(小学部)の教諭(正式採用)で勤務地限定採用枠(区分V・Ⅷ)							従来から
資格要件	現に国公立の小・中・高・特支等の教諭(正式採用)として勤務中の者又は勤務したことのある者							
資格要件の確認方法	・出願時の願書の職歴欄 ・2次試験受験時に提出する勤務記録カード等の写し							
免除される試験科目	第1次試験のすべて(一般教職教養試験、専門筆記試験、面接試験)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5			4			9
	平成21年度受験者数(名)	16	13		1			30

山口県

対象となる校種・教科	すべての校種・教科等							新規
資格要件	現に他の都道府県において、国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校に在職している教員(任期を定めて任用される者又は非常勤の者は除く)が、出願時の勤務と同一の志願区分で出願した場合							
資格要件の確認方法	出願時に在職証明書により確認。							
免除される試験科目	教職専門試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	28	7	9	3	3		50

福岡県

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・現職者の特例: 現に小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正規教員として勤務している者で、所定の証明書を提出するもの ・講師等経験者の特例: 福岡県内の公立学校(北九州市及び福岡市立の小・中・特別支援学校(小・中学部)を除く)の常勤講師、非常勤講師、助教諭、養護助教諭として、過去6年間と受験年度の出願時までの期間に36月以上の勤務経験がある者で、所定の申請書を提出する者 							
資格要件の確認方法	現職者の特例: 在職証明書、講師等経験者の特例: 所定の申請書、辞令の写し							
免除される試験科目	一次の教職教養							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	24	17	26	4	7		78
	平成21年度受験者数(名)	205	233	281		44		763

佐賀県

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科							新規
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> 下記の要件を満たす者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者 ・現に他の都道府県、指定都市の公立学校で正規の教諭又は養護教諭の職にある者 ・平成20年度において、佐賀県公立学校に講師又は養護助教諭として任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去6年間に36月以上の在職期間を有する者。(非常勤講師としての期間は在職期間に1/2を乗じて算出する。) 							
資格要件の確認方法	所属校長の在職証明及び本人が申告した職歴を事務局で照合して確認している。							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	35	71	40	12	4		162

長崎県

対象となる校種・教科	小学校・中学校教諭志願者							従来から
資格要件	平成20年度において、本県公立小・中学校に臨時的に任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去5年間(平成15~19年度)において、3か年度以上臨時的任用等教員を経験し、優秀な勤務成績を収めた者。(各年度の任用期間は、長短にかかわらず1年と算定する。)							
資格要件の確認方法	免除申請書を現在勤務する学校の校長あて提出する							
免除される試験科目	教職・一般教養試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	13	7					20
	平成21年度受験者数(名)	21	13					34

熊本県

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	平成20年5月1日現在で、本県公立学校の教員として任用され、過去5年間に通算36月以上の本県公立学校の臨時的任用教員等の経験があり、校長等の推薦を受け、県教育委員会において選考された者に限る。							
資格要件の確認方法	提出書類及び人事記録							
免除される試験科目	教職科目・一般教養							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	9	4	7		1		21
	平成21年度受験者数(名)	11	9	17	4	6		47

宮崎県

対象となる校種・教科	小、中、高、特支、養教							従来から
資格要件	臨時的任用講師等の経験(出願時の前の年度までの5年間のうち、通算24月以上、本県において臨時的任用講師及び非常勤講師等の勤務経験のある者)、現職教員、元教員(本県の公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭、養護教諭としての勤務実績が5年以上ある人)。							
資格要件の確認方法	申請書と雇用証明書等の提出							
免除される試験科目	1次試験の教職教養の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	22	13	6	11	8		60
	平成21年度受験者数(名)	203	178	138	90	36		645

札幌市

※ 北海道に同じ。

仙台市

実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	8	4	4		1		17
	平成21年度受験者数(名)	59	29	11		5		104
※ 資格要件等は宮城県に同じ。 ※ 宮城県と共同で試験を実施し、採用者数は宮城県と仙台市それぞれで決定しているため、受験者数は宮城県と共通であり、採用者数は、宮城県と仙台市でそれぞれ計上。								

千葉市

※ 千葉県に同じ。

静岡市

対象となる校種・教科	小学校、中学校、養護教諭							従来から
資格要件	・現に国公立学校の教諭又は養護教諭として平成20年4月1日現在、在職している者 ・国公立学校で教諭又は養護教諭として通算3年以上の勤務実績のある者 ・静岡市内の国公立学校で臨時的任用の講師として、平成19年度に勤務実績を有し、かつ、平成17年度から平成19年度に通算18月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	最終勤務地の校長による勤務歴証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験で、教職・一般教養の筆記試験に代えて、課題作文を課す。							
免除された試験に替わる試験	第1次選考試験で、教職・一般教養の筆記試験に代えて、課題作文を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5	2			1		8
	平成21年度受験者数(名)	35	26			6		67

浜松市

対象となる校種・教科	小学校、中学校、養護教諭							従来から
資格要件	H19年度に勤務実績があり、H18、19年度中に12月以上の講師経験がある者、又は本県元職(経験5年以上)、又は他県現職で経験2年以上の者。							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明(元職の場合は「体験調書」を提出する。)							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に替わる試験	課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	18	10			2		30
	平成21年度受験者数(名)	70	46			10		126

名古屋市

対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員							従来から
資格要件	・名古屋市内での講師経験(常勤・非常勤・臨時的任用も含む)が過去5年間に通算2年以上ある人 ・現在、名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務し、平成19年度末までに本務教諭の任用期間が通算2年以上ある人							
資格要件の確認方法	所属長の証明がある申請書							
免除される試験科目	総合教養							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	54	32		13	4		103
	平成21年度受験者数(名)	143	186			15		344

京都市①

対象となる校種・教科	一般選考と同様の校種・教科							従来から
資格要件	平成21年3月31日現在、国公立学校の正規教諭、養護教員、任用の期限を付さない常勤講師として在職している者							
資格要件の確認方法	志願書に記入							
免除される試験科目	①現職教員勤務歴1年以上 ②現職教員勤務歴3年以上							
免除された試験に替わる試験	①一般・教職教養試験(第1次試験) ②1次試験を免除し、個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	19	7	1				27
	平成21年度受験者数(名)	58	57	24		2		141

京都市②

対象となる校種・教科	一般選考と同様の校種・教科							従来から
資格要件	平成21年度3月31日現在で、常勤講師(臨時的任用職員)としての勤務歴が通算3年以上あること							
資格要件の確認方法	志願書に記入							
免除される試験科目	一般・教職教養試験(第1次試験)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	15	12	2		4		33
	平成21年度受験者数(名)	155	140	18		13		326

大阪市

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教							従来から
資格要件	次の①～③の期間が、平成15年4月1日から平成20年4月30日までの間に、通算1年以上あること。 ①大阪市公立学校・幼稚園以外の学校・幼稚園における教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務期間 ②大阪市公立学校・幼稚園における常勤・非常勤講師としての勤務期間 ③大阪市公立学校における正規職員の実習助手・寄宿舎指導員としての勤務期間							
資格要件の確認方法	内定後に勤務証明書を提出してもらう。							
免除される試験科目	第1次選考筆答テスト							
免除された試験に替わる試験	第1次選考論文テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	47	59	8	24	13		151
	平成21年度受験者数(名)	192	251	94	83	56	2	678

堺市

※ 大阪府に同じ。

神戸市

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、幼稚園							従来から
資格要件	①平成21年3月31日現在、国立大学法人附属学校園及び公立学校園の現職の教諭又は養護教諭で、継続して4年以上の勤務経験を有する者。 ②神戸市立学校園で臨時的任用教員又は養護担当教員として、平成17年4月1日から平成20年3月31日までに通算2年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	①在職証明書等の提出 ②委嘱状の写しの提出							
免除される試験科目	①教職・一般教養、専門教科 ②教職、専門教科							
免除された試験に替わる試験	①小論文 ②2次試験面接の際に模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	35	38					73
	平成21年度受験者数(名)	139	152			10		301

北九州市

対象となる校種・教科	全て							従来から
資格要件	現に小学校、中学校、特別支援学校(国公立学校を問わない)の正規教員として勤務している者							
資格要件の確認方法	在職証明書の提出							
免除される試験科目	第1次試験の専門教科、(教科が英語の場合)実技試験(リスニング)の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	3	1			1		5
	平成21年度受験者数(名)	4	6		2	1		13

福岡市

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	①公立小学校、中学校及び特別支援学校の正規教諭として現に勤務している人 ②福岡市立学校に常勤及び非常勤講師(勤務日が週4日または週16時間以上ある場合に限る。)として任用された人のうち、平成15年4月1日～平成20年5月31日現在、良好に勤務した期間(受験する職種・校種、校種及び教科と同一の場合に限る。)が通算24月以上ある人							
資格要件の確認方法	①については実績証明書(勤務先が記入)を提出。 ②については本市での講師経験なので発令データと突合させて確認。							
免除される試験科目	専門教科(各校種・教科)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	16	16	1	8	1		42
	平成21年度受験者数(名)	119	94	15	25	6		259

※ 高等学校の試験については福岡県と共同実施であり、資格要件等については福岡県と同じ。

(1)カ 前年度の採用候補者名簿登載者であることによる一部試験免除

宮城県

対象となる校種・教科	小学校教諭, 中学校教諭, 高等学校教諭, 養護教諭, 栄養教諭							従来から
資格要件	採用候補者名簿登載者で, 採用されなかった場合は, 同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り, 次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。							
資格要件の確認方法	前年度採用候補者登載名簿で確認。							
免除される試験科目	同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り, 第1次選考を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)							
※ 名簿登載者で採用されなかった者がいなかったため, 採用者数及び受験者数ともに0名。								

東京都

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	①前年度名簿登載、前々年度名簿登載、 ②前年度期限付名簿登載、 ただし、同一の校種・教科に限る。							
資格要件の確認方法	前年度及び前々年度の名簿により確認							
免除される試験科目	①別途、個人面接のみ ②第一次選考免除・第二次選考(実技)免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							47
	平成21年度受験者数(名)							124

愛知県

対象となる校種・教科	全校種・全教科							従来から
資格要件	「平成20年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人が、「平成21年度愛知県公立学校教員採用選考試験」において、同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合。							
資格要件の確認方法	志願書の指定欄に、平成20年度(前年度)の受験番号を記入する。							
免除される試験科目	1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2					2
	平成21年度受験者数(名)			21	14	1		36

鳥取県

対象となる校種・教科	小、中、高、特支、養教							従来から
資格要件	昨年度実施した「平成20年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験」受験者のうち、B登載の者が今年度出願する場合							
資格要件の確認方法	教育委員会事務局担当各課の内部資料による							
免除される試験科目	第一次選考試験(一般教養、教職教養、集団面接、集団討議、志願する教科の専門試験)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5	3	2		1		11
	平成21年度受験者数(名)	3	2	1	1			7

徳島県

対象となる 校種・教科	登載教科等							新規
資格要件	採用候補者名簿(B)に登載された者							
資格要件の 確認方法	内定通知者名簿							
免除される 試験科目	第1次審査免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	3	2	2	1			8

仙台市

実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)							

※ 資格要件等は宮城県に同じ。
 ※ 宮城県と共同で試験を実施し、採用者数は宮城県と仙台市それぞれで決定しているため、受験者数は宮城県と共通であり、採用者数は、宮城県と仙台市でそれぞれ計上。
 ※ 名簿登載者で採用されなかった者がいなかったため、採用者数及び受験者数ともに0名。

さいたま市

対象となる 校種・教科	小・中・養教							従来から
資格要件	前年度の補欠者							
資格要件の 確認方法	志願書による本人確認							
免除される 試験科目	一次試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1	6					7
	平成21年度受験者数(名)	1	9			1		11

(1)キ 前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる一部試験免除

富山県

対象となる 校種・教科	全校種・全教科							従来から
資格要件	前年度または前々年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師もしくは養護助教諭)が通算12月以上							
資格要件の 確認方法	第1次検査一部免除調書と人事記録表等の写しを提出させている。							
免除される 試験科目	第1次検査の教養Ⅰ、専門教科筆答検査Ⅰ、専門教科実技検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	9	11※		2	2		24
	平成21年度受験者数(名)	31	30※		5	3		69
※ 中高一括で検査を実施しているため、「中」「高」の人数を「中」の欄に記載した。								

岐阜県

対象となる 校種・教科	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭							新規
資格要件	平成20年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験において、第1次、第2次試験を総合的に評価した結果、採用候補者名簿に登載されず、任期付採用職員候補者とならなかった者のうち、成績優秀な者で、20年度の講師としての実績に対して学校長及び市町村教育委員会の推薦を得た者。							
資格要件の 確認方法	推薦書							
免除される 試験科目	第1次選考試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	16	14	10	5			45

京都府

対象となる 校種・教科	全校種・教科(科目)							従来から
資格要件	平成20年度京都府公立学校教員採用選考試験第1次試験の一般教養を受験し、合格した方(第2次試験受験辞退者を除く。) ※ただし、平成20年度試験において受験した同一の選考区分、校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の 確認方法	前年度データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認							
免除される 試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	44	14	10	8	2	2	80
	平成21年度受験者数(名)	73	47	38	14	11	2	185

大阪府

対象となる 校種・教科	すべての校種・教科							従来から
資格要件	前年度採用選考について、第1次選考で合格と判定されたうえで、第2次選考を有効に受験し不合格と判定された人							
資格要件の 確認方法	前年度決定通知書(不合格)の裏面に必要事項記入のうえ提出が必要。							
免除される 試験科目	第1次選考の面接及び筆答テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)						---	373
	平成21年度受験者数(名)※	327	277	184	25	19	---	832
※ 1次免除者数								

兵庫県

対象となる 校種・教科	全校種							従来から
資格要件	平成19年度実施の本県教員採用試験における1次合格者							
資格要件の 確認方法	前年度の合否資料							
免除される 試験科目	第一次の筆答試験							
免除された 試験に替わる試験	教育に関するレポート提出に代えることができる							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	162	62	46	3	6		279
	平成21年度受験者数(名)	291	154	116	13	22		596

奈良県

対象となる 校種・教科	小学校、中学校(国・社・数・理・音・体・英)、高校(数・工)、特別支援学校							新規
資格要件	平成20年度採用試験において、次年度の第1次試験免除の通知を受けている人で、受験資格要件(年齢制限以外)に該当し、昭和43年4月2日以降に生まれた人又は昭和38年4月2日以降に生まれた人で平成19年3月31日までに36月以上教諭として勤務したことのある人(ただし、教諭経験月数には平成19年3月31日現在における奈良県の公立学校講師(非常勤講師を除く)の経験月数を含める)は、平成20年度採用試験において受験した同一の校種・教科(科目)等に出願する場合に限り、平成21年度第1次試験を免除する。							
資格要件の 確認方法	本人の申告と前年度の名簿を照合する。							
免除される 試験科目	第1次試験すべて(教職教養、教科専門、集団面接)							
免除された 試験に替わる試験	試験は課さないが、1次試験と同じ日に集合して自己PRとレポートを記入させている。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	70	23	3	7			103

和歌山県

対象となる 校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	前年度の本県教員採用検査の第2次検査を受検し、不合格と判定された者							
資格要件の 確認方法	申請書(前年度の受検校種・教科の受検番号による。)							
免除される 試験科目	一次検査の筆答検査(一般教養)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	19	16	14	5	3		57
	平成21年度受験者数(名)	42	59	24	8	7		140

広島県

対象となる 校種・教科	本年度募集の各職種、校種、教科、科目							新規
資格要件	昨年度、2次試験を受験した者で、本年度の選考試験を同一の職種、校種、教科、科目で受験する者。							
資格要件の 確認方法	昨年の受験番号と本人情報により確認							
免除される 試験科目	1次試験のすべて							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	109	86	54	5	10		264

山口県

対象となる 校種・教科	すべての校種・教科等							従来から
資格要件	前年度教員採用候補者選考試験第二次試験の不合格者のうち、総合成績がAであるもの (同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)で志願する場合に限る。)							
資格要件の 確認方法	昨年度の選考資料及び二次試験における本人に宛てた発送文書で確認							
免除される 試験科目	第一次試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	15	7	5		1		28
	平成21年度受験者数(名)	17	11	7		2		37

福岡県

対象となる 校種・教科	全校種・教科							新規
資格要件	前年度の第1次試験合格者で、前年度に受験した試験区分(高等学校教員については各設置者ごと)及び教科・科目と同一の試験を受験する場合							
資格要件の 確認方法	県作成の対象者名簿で確認							
免除される 試験科目	一次の教職教養							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	38	20	19		3		80

京都市

対象となる 校種・教科	一般選考と同様の校種・教科							従来から
資格要件	前年度第1次試験合格者であること。 (ただし、第2次試験辞退者及び内定辞退者を除く)							
資格要件の 確認方法	志願書提出時に昨年度第1次試験合格通知書の写しを提出							
免除される 試験科目	第1次試験免除(ただし、昨年度合格区分と同一区分を受験する場合のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	33	21	1		1		56
	平成21年度受験者数(名)	99	42	8		5		154

大阪市

対象となる 校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教							従来から
資格要件	前年度の第1次選考で「合格」の通知を受け、第2次選考で「不合格」の通知を受けていること。							
資格要件の 確認方法	前年度の第2次選考の不合格通知を、出願の際に提出してもらう。							
免除される 試験科目	第1次選考の全てのテスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	51	47	8	13	3		122
	平成21年度受験者数(名)	168	130	6	29	21		354

堺市

※ 大阪府に同じ。

広島市

※ 広島県に同じ。

福岡市

対象となる 校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	昨年度実施した福岡市立教員採用候補者選考試験において、1次試験に合格した人(受験する職種、校種、及び教科が同一の場合に限る。)							
資格要件の 確認方法	本市での採用試験データと突合させて確認。							
免除される 試験科目	専門教科(各校種・教科)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	26	22		3	3		54
	平成21年度受験者数(名)	43	31		11	5		90
※ 高等学校の試験については、福岡県と共同実施								

(1)ク その他の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除

北海道

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の商業							従来から
資格要件	① 日商簿記検定1級合格者又は全経簿記検定上級合格者 ② 税理士試験の財務諸表論又は簿記論科目合格者 ③ 公認会計士又は税理士の資格取得者							
資格要件の確認方法	資格証明書又は、出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合は、第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
免除される試験科目	一次検査: 専門検査商業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)			4				4

宮城県

対象となる校種・教科	小学校教諭, 中学校教諭, 高等学校教諭, 養護教諭							従来から
資格要件	過去5年以上継続して、出願時に勤務している民間企業(系列企業を含む)に正社員として勤務している者。							
資格要件の確認方法	名簿登載後に、在籍証明書を提出させて確認。							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に替わる試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	6	10	8				24

東京都①

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	関係教職課程を有する大学から推薦を受け、書類審査のうえ、所定の要件を満たした者							
資格要件の確認方法	推薦書							
免除される試験科目	第一次選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							95
	平成21年度受験者数(名)							190

東京都②

対象となる校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	民間企業、官公庁等にて、常勤の職としての勤務経験が、通算5年以上か、1つの職場で継続3年以上ある者							
資格要件の確認方法	所定の様式を提出させる。							
免除される試験科目	第一次選考・択一免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							217
	平成21年度受験者数(名)							1278

愛知県

対象となる 校種・教科	中学校・技術							従来から
資格要件	「一般選考」と同じ受験資格を有し、学長又は学部長の推薦を受けた人。							
資格要件の 確認方法	推薦書で確認							
免除される 試験科目	1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2					2
	平成21年度受験者数(名)		3					3

大阪府

対象となる 校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	・平成19年度採用選考テストに合格後、大学院進学を理由として申出書を大阪府教育委員会に提出し、採用を辞退していること。 ・平成20年度中に大学院修士課程を修了すること。 平成21年4月1日までにH19テストで合格した校種教科の専修免許状が取得できること。							
資格要件の 確認方法	申出書提出者に願書を送付							
免除される 試験科目	第1次選考の面接及び筆答テスト 第2次選考筆答テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)						---	17
	平成21年度受験者数(名)※1	9※3	6※2	3	5		---	23
※1 志願者数 ※2 小中共通の受験者は、中学校に算入 ※3 堺市立小・幼共通は小学校に算入								

兵庫県

対象となる 校種・教科	高校・看護							従来から
資格要件	高校看護の免許を有する者で、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験も含む)							
資格要件の 確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される 試験科目	第一次の筆答試験							
免除された 試験に替わる試験	教育に関するレポート提出に代えることができる							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			1				1

札幌市

※ 北海道に同じ。 ※ 北海道と共同登録のため、札幌市の人数については集計していない。								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

仙台市

実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	6	10	8				24
※ 資格要件等は宮城県に同じ。 ※ 宮城県と共同で試験を実施し、採用者数は宮城県と仙台市それぞれで決定しているため、受験者数は宮城県と共通であり、採用者数は、宮城県と仙台市でそれぞれ計上。								

川崎市

対象となる校種・教科	全校種・職種							従来から
資格要件	前年度の最終選考の結果、補欠と判定された者のうち、前年度末までに名簿登載者として繰上げされなかった者。							
資格要件の確認方法	前年度の採用試験結果資料。							
免除される試験科目	第1次試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)		6					6

京都市①

対象となる校種・教科	一般選考と同様の校種・教科							新規
資格要件	平成20年3月31日現在、同一の法人格を有する民間企業または官公庁等で正社員または正規職員として、3年以上の勤務実績がある者							
資格要件の確認方法	内定時に在職証明書等を提出							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に替わる試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	23	22	7		7		59

京都市②

対象となる校種・教科	中学校・高等学校の数学・理科							新規
資格要件	平成20年3月31日現在、博士号を取得している者							
資格要件の確認方法	志願書提出時に学位授与証明書を提出							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に替わる試験	個人面接を第2次試験で実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)			4				5

堺市

※ 大阪府に同じ。

神戸市(再掲)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、幼稚園							従来から
資格要件	平成20年3月31日現在、法人格を有する同一の民間企業及び官公庁等において、正社員又は正規職員として継続して3年以上の勤務経験又は青年海外協力隊として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に替わる試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	13	3			4		20
	平成21年度受験者数(名)	111	135			39		285

(1)ケ 特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度

三重県

対象となる 校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	ア 複数の教育職員免許状を有する人 イ 日常生活や学校現場に必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、特に口頭で表現できる人 ウ 中学校教諭または高等学校教諭の「英語」以外の受験者で要項に示した資格を有する人 エ スポーツで特に優れた実績をあげた人 オ 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭または特別支援学校教諭受験者で司書教諭の資格を有する人 カ 高等学校教諭の「看護」受験者及び養護教諭受験者で、看護師免許を現に有する人 キ 言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の資格を現に有する人							
資格要件の 確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出(ア～キ)。1次試験当日に原本確認(ウ、エ、カ、キ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							183
	平成21年度受験者数(名)							828

奈良県

対象となる 校種・教科	全校種・教科							従来から
資格要件	①小学校又は中学校を受験する人で、小学校及び中学校教諭教諭普通免許状を共に所有する人。 ②中学校を受験する人で、中学校教諭の複数教科の教諭普通免許状を所有する人。 ③学校図書館司書教諭の資格を有する人。 ④中学校英語を受験する人以外で、実用英語技能検定2級合格、TOEFL PBT500点以上若しくはCBT173点以上、iBT61点以上取得又はTOEIC650点以上取得のうち、いずれかの資格を有する人。 ⑤奈良県内の公立学校において、平成15年4月1日から平成20年3月31日までの5年間で通算36月以上常勤講師の経験がある人。							
資格要件の 確認方法	1次試験の時に原本確認、2次試験の時にコピー提出。取得見込の人については、取得した段階でコピー提出。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	114	32	1	13			160
	平成21年度受験者数(名)	399	310	57	33	25		824

愛媛県

対象となる 校種・教科	小(資格要件の⑥以外)、中(⑥以外)、高(⑤以外)、特支(①、⑤、⑥以外)、養教(①～⑥以外)、栄教(①～⑥以外)							従来から
資格要件	①スポーツの分野(全国規模の大会出場以上) ②芸術・文化の分野(全国規模以上のコンクール・展覧会等で特に優秀な成績) ③高い英語力(英語検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上、TOEIC 860点以上) ④司書教諭の有資格者 ⑤特別支援学校教諭免許状取得者 ⑥情報の高等学校教諭免許状取得者 ⑦青年海外協力隊派遣(2年間程度) ⑧臨床心理士の有資格者							
資格要件の 確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当日に現物を確認する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	47	19	15	2			83
	平成21年度受験者数(名)	146	91	116	9			362

佐賀県

対象となる 校種・教科	下記の資格要件参照(1の司書教諭のみ全校種・全教科)							新規
資格要件	1 司書教諭の資格を有する者 2 小学校、中学校教諭等及び特別支援学校教諭教諭等(小学部及び中学部)の受験者で 小学校教諭と中学校教諭の免許状をともに有する者 3 中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(中学部)の受験者で、中学校教諭の複数教科 の免許を有する者 4 高等学校教諭等の受験者で、「福祉」又は「情報」の免許状を有する者							
資格要件の 確認方法	司書教諭の資格は「修了証書の写し」、教育職員免許状については、「免許状の写し」を提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	194	89	51	5	-	-	339

(2) 特別選考

特別選考の種類		特別選考の実施状況														
		特別選考の実施状況														
		英語の資格による特別選考	スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考	社会人特別選考(民間企業等による特別選考)	教職経験による特別選考	国際貢献活動による特別選考	いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考	その他								
参照ページ	107ページ参照	111ページ参照	118ページ参照	128ページ参照	134ページ参照	138ページ参照	139ページ参照									
特別免許状の活用	特別免許状の活用	特免	特免	特免	特免	特免	特免									
1	北海道	○	○	○	○	○										
2	青森県	○	○	○	○	○										
3	岩手県	○	○	○	○	○										
4	宮城県	—	—													
5	秋田県	○	○	○	○	○									博士号保有者特別選考	○
6	山形県	○	—			○										
7	福島県	○	—				○									
8	茨城県	○	○			○										
9	栃木県	○	○	○	○											
10	群馬県	○	○	○		○	○	○								
11	埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			情報処理に係る有資格者特別選考(高校) 家庭(科)に係る有資格者特別選考(高校) 特別支援教育に関する特別選考		
12	千葉県	○	—											養護教諭特別選考		
13	東京都	○	—			—	—	—			○					
14	神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○							
15	新潟県	○	○	○	○											
16	富山県	○	○	○		○	—	○						特別選考 特定資格	○	
17	石川県	○	○	○		○	○									
18	福井県	—	—													
19	山梨県	○	○	○	○			○								
20	長野県	○	○			○	○	○						発達障害児童生徒特別支援のための選考		
21	岐阜県	○	○	○	○											
22	静岡県	—	—					—								
23	愛知県	○	○			○	○	○	○	○				外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)が堪能な者を対象とした選考		
24	三重県	○	○		○	○	○	○								
25	滋賀県	—	—													
26	京都府	○	○		○	○	○	○			○			大学推薦特別選考(小学校、中学校数学、中学校理科)		
27	大阪府	○	○			○	○	○	○					大学院進学者対象の選考 特別支援教育推進のための選考		
28	兵庫県	○	○			○	○									

		特別選考の実施														
特別選考の種類	特別選考の実施状況	英語の資格による特別選考		スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考		社会人特別選考(民間企業等による特別選考)		教職経験による特別選考		国際貢献活動による特別選考		いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考		その他		
		107ページ参照		111ページ参照		118ページ参照		128ページ参照		134ページ参照		138ページ参照		139ページ参照		
		特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免		
29 奈良県	○	○				○	○									
30 和歌山県	○	○			○	○										
31 鳥取県	○			○												
32 島根県		—														
33 岡山県	○	○	○		○		○	○	○						特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	
34 広島県	○	○							○							
35 山口県	○	○			○		○	○								
36 徳島県	○	○			○		○	○	○							
37 香川県	○	○					○	○	○						特別選考I④	
38 愛媛県																
39 高知県	○	○					○	○								
40 福岡県																
41 佐賀県	○				○		○									
42 長崎県	○	○			○		○	○								
43 熊本県	○	○	○													
44 大分県	○	○			—		○	○								
45 宮崎県	○				○		○									
46 鹿児島県	○														特別支援学校特別選考	
47 沖縄県																
48 札幌市	○	○			○		○	○								
49 仙台市	—	—					—									
50 さいたま市	○								○	○					小学校音楽専科特別選考	
51 千葉市	○	—													養護教諭特別選考	
52 川崎市	○						○		○	○					大学推薦	
53 横浜市	○		○		○		○	○	○	○		○				
54 新潟市	○				○		○	○	○							
55 静岡市	—								—							
56 浜松市																
57 名古屋市																
58 京都市	○	—								○						
59 大阪市	○	○					○			○						
60 堺市	○						○		○	○					大学院進学者対象の選考 特別支援教育推進のための選考	
61 神戸市	—						—		—							
62 広島市	○	○							○							
63 北九州市																
64 福岡市	○				○		○		○	○						
合計	50 (46)	23 (23)	13 (9)	2 (-)	24 (19)	4 (-)	34 (27)	21 (-)	20 (20)	0 (-)	13 (-)	0 (-)	4 (-)	0 (-)	15 (-)	2 (-)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()は前年度の数値である。また、(-)は、前年度に集計していないことを表す。

(2)ア 英語の資格による特別選考

青森県

選考名称	社会人特別選考	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>受験教科(科目)に相当する高等学校教諭普通免許状を有する場合は①②のいずれにも該当する者、有しない場合は①から③のすべてに該当する者。</p> <p>①出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者</p> <p>②出願時に以下の資格等を有する者</p> <p>ア 高等学校英語:実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL600点以上のいずれか。</p> <p>イ 高等学校水産(情報通信):電波法に定める第1級総合無線通信士又は第1級陸上無線技術士の資格。</p> <p>③以下の要件を満たす者</p> <p>ア 高等学校英語:5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること。</p> <p>イ 高等学校水産(情報通信):5年間以上水産、商船、工業のいずれかに関連する実務経験を有すること。</p>							
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験、専門教科試験、集団討論試験を免除し、第一次試験において個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	-
	平成21年度受験者数(名)	-	-	1	-	-	-	1

秋田県①

選考名称	社会人特別選考・小学校教諭等(英語活動)	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満33未満					
資格要件	<p>英語を母国語とする者で日本語による教科等の指導ができる者。または、長期留学経験者、英語を母国語とする者と同じような環境で英語を学び、同等の指導ができる者(教員免許状の所有を前提としない選考)</p>							
選考方法・試験内容	<p>1次選考 小論文・面接</p> <p>2次選考 模擬授業・面接</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	25						25

秋田県②

選考名称	社会人特別選考・高等学校教諭等(外国語・情報)	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	<p>外国語:英語、韓国朝鮮語、中国語について専門的知識及び技能を有し、民間企業・官公庁等での該当言語を使用した実務経験が10年以上の者</p> <p>情報:第一種情報処理技術者またはそれと同等以上の資格を有し、民間企業・官公庁等での実務経験が10年以上の者(教員免許状の所有を前提としない選考)</p>							
選考方法・試験内容	<p>1次選考 総合教養、小論文、面接</p> <p>2次選考 模擬授業、小論文、面接</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)			8				8

栃木県

選考名称	英語の資格により一部試験を免除した選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、さらに下記①～③のいずれかの資格を有する者。 ①TOEFL600点以上(CBT形式250点以上・iBT形式100点以上)取得者 ②TOEIC900点以上取得者 ③実用英語技能検定((財)日本英語協会)1級合格者 ※①②については、平成16年4月1日以降に資格を得た者(今年度実施試験の場合)							
選考方法・試験内容	・証明する書類の写しを提出させ、書類選考を実施。 ・対象となった者については、第1次試験の学力試験のうち英語の専門科目を免除し、一般教養と面接のみを行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	0				1
	平成21年度受験者数(名)		0	6				6

群馬県

選考名称	英語科教員特別選考試験	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、実用英語技能検定1級合格者、TOEFLPBT600点以上、CBT250点以上取得者又はTOEIC900点以上取得者(ただし、TOEFL及びTOEICについては、平成18年7月以降に取得している人)							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	1	2	0	0	0	3
	平成21年度受験者数(名)	0	2	3	0	0	0	5

埼玉県

選考名称	小学校得意特技特別選考(小学校)、英語に係る有資格者特別選考(高校)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、以下の要件を満たす者。 (小学校)TOEIC730点以上、TOEFL550点以上、英語検定準1級以上等 (高校)実用英語技能検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上・CBT250点以上・iBT100点以上取得者、TOEIC 895点以上取得者のいずれかに該当する者。 ただし、16年度選考以降、この特別選考を志願した者を除く。							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様(小学校)第1次試験を免除(高校)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			4				4
	平成21年度受験者数(名)	23		23				46

神奈川県

選考名称	特別選考【英語資格所有者】	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、TOEFL-PBT(ペーパー版TOEFL)550点以上、TOEFL-CBT(コンピュータ版TOEFL)213点以上、TOEFL-Ibt(インターネット版TOEFL)79点以上、TOEIC(IPテストは除く)780点以上、または実用英語技能検定(財団法人英語検定協会)1級のいずれか1つのスコアや級を有する人							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験のうち専門教科試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2	14				16
	平成21年度受験者数(名)		23	35				58

富山県

選考名称	特別選考 特定資格	従来から	特別免許状の活用:	無※				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>受検種目・受験教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成21年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者。</p> <p>全ての種目・・・臨床心理士 中高英語・・・TOEIC860点以上・TOEFL PBT600点以上 CBT250点以上・実用英語技能検定1級理科(全科目)工業(薬業系)・・・薬剤師 中高看護・・・看護師、助産師、保健師(教諭普通免許状を所有していなくても、一定の条件を満たせば出願できる) 中高情報・・・ソフトウェア開発技術者試験合格者等(他は実施要項参照) 中高工業(建築系)・・・1級建築士、特別支援教諭・・・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士</p> <p>※ 英語については特別免許状は活用しないが、中高看護については特別免許状活用あり。</p>							
選考方法・試験内容	<p>第1次検査・・・小論文、個人面接(一般選考では専門、教養の筆答検査) 集団面接(一般選考と同じ) 第2次検査・・・専門筆答検査、教養論述問題、適性検査、実技検査(一般選考と同じ)</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		6		1			7
	平成21年度受験者数(名)	1	13		1			15

石川県

選考名称	英語に係る資格を有する英語受験者を対象とした選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>一般選考の受験資格を全て満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の英語受験者のうち、平成18年4月1日以降に次のいずれかを取得したもの</p> <p>・実用英語技能検定 1級合格 ・TOEFL600点(CBT250点又はIBT100点)以上 ・TOEIC900点以上</p>							
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における教科専門及び実技試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		高に含む	3				3

山梨県

選考名称	英語の資格のある人を対象とした特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、さらに以下のいずれかの資格を有する者。</p> <p>TOEFL 600点以上 コンピュータ方式 250点以上 インターネット方式 100点以上 TOEIC 860点以上 実用英語検定 1級合格者</p> <p>スコアや資格を証明する書類の写しを提出。(第一次検査当日に実物を持参し確認)</p>							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、対象となった者は、第一次検査において、英語の「専門教養検査」を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		1	3				4

岐阜県

選考名称	高等学校教諭特別選考(英語)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、「高度の英語表現能力を有し、外国の社会・文化に造けいを有する者」であって、次のいずれかを満たす者 (i)外国で5年以上の居住・活動経験を有する者 (ii)次に挙げるいずれかの検定試験で基準を満たす成績を収めた者 ・TOEIC:860点以上 ・TOEFL:600点以上(CBT:250点以上) ・文部(科学)省認定実用英語検定:1級							
選考方法・試験内容	第1次試験の内、筆記試験を免除し、代わりにスピーチ、ディスカッションによる口頭試験を行う。第2次試験は一般受験者と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			14				14

岡山県

選考名称	特別選考A [スポーツの実績・英語の資格による特別選考]	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、中学校・高等学校の「英語」の志願者で、実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、又はTOEFL(国際教育交換協議会)600点以上(平成18年7月13日以降に受験した者。なお、Computer-basedで受験した者については、250点以上、Internet-basedで受験した者については、100点以上)取得者。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)		2	4				6

熊本県

選考名称	小学校A区分	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	11名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	小学校教諭の普通免許状と中学校教諭の英語または高等学校教諭の英語の普通免許状を現に所有している者または平成21年3月31日に取得見込みの者。							
選考方法・試験内容	小学校教諭の試験内容に加えて、1次試験に実技等(筆記、スピーキング、リスニング)を実施している。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	10						10
	平成21年度受験者数(名)	44						44

横浜市

選考名称	特別選考Ⅰ(スポーツ・学芸・英語力等特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、スポーツ・芸術・学芸・英語力等の分野において、国際的又は全国的規模の大会等(競技会・コンクール・展覧会・英語資格検定等)で、特別に優秀な実績・資格を持つ人及びこれに準じる人。ただし、スポーツに関わる実績については、加盟競技団体等として財団法人日本体育協会に承認を受けている種目であり、かつ、当該実績内容が横浜市公立学校における部活動指導等の学校教育活動に資すると認められる種目の実績とする。実績・資格については、平成10年4月1日以降のものとする。							
選考方法・試験内容	実績・資格の内容を客観的に示す書類の写しと、論作文「保護者や子ども、社会から信頼される教員になるために、私が行う3つの具体的行動」1200字以内を申込時に提出。相当と認められた人は、特別選考Ⅰ合格者として第一次試験を免除。選考の結果は受験票の発送をもって通知する。特別選考Ⅰに合格しなかった人は、一般選考として第一次試験を受験することができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	6	6	-	0	0	-	12
	平成21年度受験者数(名)	9	48	-	1	0	-	58

(2)イ スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考

北海道

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	①スポーツの分野において国際的規模の競技会に日本代表として出場した者及び日本選手権大会又はこれに準ずる全国的な規模の大会において優秀な成績を収め者 ②音楽・美術等の芸術の分野において国際レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者 ③その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できる者 ④年齢や受験区分については一般選考同様							
選考方法・試験内容	①申請のあった志願者について出願書類により対象者が決定し、一次検査を免除。 ②第二次検査は一般選考の受験者と同様に実施するが、技能・実績の内容に密接に関連する実技検査については免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1		1	1			3
	平成21年度受験者数(名)		1	2				3

青森県

選考名称	スポーツ特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、平成15年4月1日以降、国際的又は全国的規模の競技会等で、特別に優秀な実績を有する者							
選考方法・試験内容	(1)書類審査 (2)面接審査 (3)最終選考 面接(模擬授業・個人面接)、適性検査(内田クレペリン検査、YG性格検査)、小論文、実技試験(ただし、小学校受験者は体育実技を、中高保健体育受験者は実技試験の全部を免除する。)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成21年度受験者数(名)	1	2	8	1	0		12

岩手県

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める・若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	スポーツ:国際大会出場又は全国大会で3位以内など、優秀な実績を有するもの又はその指導者 芸術:音楽、美術、書道等の芸術分野で、国際的又は全国規模のコンクール等で上位入賞など、優秀な実績を有するもの又はその指導者 ※普通免許状を有していなくても受験が可能だが、第2次審査合格後、教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受けることが必要。							
選考方法・試験内容	面接試験、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)		12	34				46

秋田県

選考名称	社会人特別選考・高等学校教諭等(保健体育)	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	高校卒業後に、国際レベルの大会(オリンピック、世界選手権等)に日本代表として出場した者、あるいは、競技の第一戦で継続的(5年以上)に活躍した者(教員免許状の所有を前提としない選考)							
選考方法・試験内容	1次選考 総合教養、小論文、面接 2次選考 模擬授業、小論文、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			4				4

栃木県

選考名称	スポーツの実績により一部試験を免除した選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、さらにスポーツの世界大会レベルの競技会に日本代表として出場した者、及び全国的な規模の大会(大学生以上)において特に優秀な成績を収めた者							
選考方法・試験内容	・大会の成績調書及び大会要項、実績を証明できるものを提出させ、書類選考を実施。 ・対象となった者については、1次試験の学力試験のうちの専門科目、及び実技試験を免除し、一般教養に関する試験と面接のみを行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		0	8				8

埼玉県

選考名称	小学校得意特技特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、音楽・体育のいずれかの分野において、全国レベルの大会・コンテスト等で優秀な成績を収めた者又は指導者級の資格を有する者。 上記の指導者級の資格とは原則として以下のものをいう。 体育分野…剣道四段以上、柔道四段以上等 音楽分野…グレード検定4級以上等							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	39						39

神奈川県

選考名称	特別選考【スポーツ・芸術実績者】	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有する中学校・高等学校(音楽、美術、保健体育)の受験希望者で、当該分野において特に秀でた技能・実績を有し、その技能が学校活動に生かされると認める人							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		6	5				11
	平成21年度受験者数(名)		9	23				32

新潟県

選考名称	新潟県教員採用におけるスポーツ・芸術特別選考制度	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	教育職員免許状等の教員採用における資格を満たしており、次のいずれかを満たす者 ア スポーツの分野において、世界大会レベル競技会出場経験があり、優秀な成績をおさめた者 イ 美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等において優秀な成績をおさめた者							
選考方法・試験内容	・応募者の出願書類の書類選考により、選ばれた者について面接を行い、審査を経て選考する。 ・出願の期間は設けず、随時募集する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成21年度受験者数(名)	0	0	0		0	0	0

山梨県

選考名称	スポーツ実績による特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、さらに以下のいずれかの資格を有する者。 ・世界レベルのスポーツの競技会に日本代表として出場した者。 ・全国的な規模の大会で特に優秀な成績を収めた者。ただし、高校生以下のみを対象とした大会は除く。 実績を証明する書類(賞状等)の写しを提出。(第一次検査当日に実物を持参し確認)							
選考方法・試験内容	第一次検査において、保健体育の専門教養検査の免除。他は、一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		0	2				2
	平成21年度受験者数(名)		0	8				8

岐阜県①

選考名称	スポーツ特別選考 (中学校保健体育教諭, 高等学校保健体育教諭)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、高等学校卒業後に、スポーツの分野で、国際レベルの大会(オリンピック, 世界選手権, アジア大会等)に日本代表として出場した者, 又は全国レベルの大会(日本選手権, 国民体育大会, 全日本学生選手権等)でベスト4以上の実績を有する者。							
選考方法・試験内容	『スポーツ特別選考』 第1次選考試験において筆記試験を免除し、面接試験のみを行う。第2次選考試験は一般の受験者と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	3				4
	平成21年度受験者数(名)		3	19				22

岐阜県②

選考名称	高等学校教諭特別選考(音楽)	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、大学等に在学中又は社会人として、国際レベルもしくは全国的な規模のピアノコンクールで優秀な成績を収めた者。							
選考方法・試験内容	『高等学校教諭特別選考(音楽)』 第1次選考試験において筆記試験を免除し、面接試験のみを行う。また、第1次選考の結果により第2次選考試験の対象となった者は、実技試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			1				1

三重県

選考名称	スポーツ特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	満30歳未満					
資格要件	一般選考の申込資格(年齢要件を除く)を満たし、かつ高等学校卒業以後、次のいずれかの条件に該当する人 (1)オリンピック大会や世界選手権等、国際レベルの競技会で日本代表として試合に出場した人 (2)国民体育大会や全日本選手権等、全国レベルの大会で試合に出場し、3位以上の成績を収めた人							
選考方法・試験内容	(1)特別選考の対象になるか否かは、提出された書類をもとに審査する。 (2)特別選考の対象となった人は、第1次選考試験の筆答試験(専門)を免除する。他の筆答試験(教養)、適性検査、集団面接は一般選考と同様に受験する。 (3)第1次選考試験の合格者は、一般選考と同様、第2次選考試験のすべてを受験する。 (4)書類審査でスポーツ特別選考の対象とならなかった人は一般選考として受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		2	8				10

京都府

選考名称	スペシャリスト特別選考 (B区分/高等学校保健体育)	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	A区分・B区分あわせて10名以内	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	次に掲げる事項のすべてに該当する方 ①保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する方 ②選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた方 ③特別免許状の授与条件を満たす方 ④昭和34年4月2日以降に生まれた方 ⑤地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない方 ⑥府内どこにでも勤務できる方 ⑦自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに教員としての職務の遂行が可能な方							
選考方法・試験内容	第1次試験 … 小論文、個人面接(一般教養及び専門教科を免除) 第2次試験 … 個人面接、教育実践力テスト(実技試験免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	0
	平成21年度受験者数(名)	-	-	3	-	-	-	3

和歌山県

選考名称	スポーツ分野において特に秀でた技能・実績・指導能力を有する者を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	教員免許状を有しない者で、次の全ての条件に該当する者。 ①高等学校を卒業した者又は文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認められた者。 ②スポーツの各種目・競技において、社会人として5年以上全国レベルの大会で優秀な成績を収めた者又は同程度の成績を指導者として収めた者。 ③教員特別免許状の授与条件を満たす者。							
選考方法・試験内容	一般選考と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		0	1				1

鳥取県

選考名称	スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	受験資格を満たす者の内、高等学校卒業後にスポーツの分野で国際的な大会に日本代表として出場した者又は全国的な大会でベスト4以上に入賞した者並びに芸術の分野で国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者							
選考方法・試験内容	選考方法:スポーツ・芸術の分野での実績に応じて加点 試験内容:他の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	—	—	—	—	—	—	0
	平成21年度受験者数(名)	—	4	25	—	—	—	29

岡山県

選考名称	特別選考A [スポーツの実績・英語の資格による特別選考]	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、中学校・高等学校の「保健体育」の志願者で、平成17年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	0				1
	平成21年度受験者数(名)		0	0				0

山口県

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	中学校又は高等学校の受験教科の教諭の普通免許状を有し、次の①又は②に該当する者で、かつ教員の職務を行うの必要な素養と熱意を有するもの ① スポーツの分野において、オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場した者、又は日本選手権等の全国的な大会でトップレベルの選手が参加する競技において、団体戦、個人戦ともに原則として、ベスト4以内に入賞し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者。ただし、団体戦の場合には、正選手であった者 ② 芸術の分野において、国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めている者、又は全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めている者							
選考方法・試験内容	第一次試験:面接A、面接B 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、面接Ⅱ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		4	3				7
	平成21年度受験者数(名)		7	21				28

徳島県

選考名称	スポーツ特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、スポーツの分野において、日本選手権大会又はこれに準ずる全国レベルの大会において優秀な成績を収め、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、中・高等学校教諭を志願する者。 ※優秀な成績を収めた者とは 個人種目:8位以内に入賞した者 団体種目:4位以内入賞(選手登録を含む)							
選考方法・試験内容	第1次審査免除、第2次審査は一般選考に同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)	1	33	3				37

佐賀県

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満59歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、スポーツ・芸術の分野において下記に次に示す「特に秀でた技能・実績」を有する者。 1 スポーツの分野において、世界レベルの競技会(国内大会を除く)で優秀な成績を収めた者 2 美術・音楽等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等(国内コンクールを除く)で優秀な成績を収めた者							
選考方法・試験内容	一次選考・・・書類選考 二次選考・・・小論文、適性検査、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成21年度受験者数(名)	0	1	1	0	0		2

長崎県

選考名称	スポーツ指導者特別採用選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	満45歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、平成13年4月1日以降平成20年5月31日までにおいて、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した選手の指導者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた選手の指導者							
選考方法・試験内容	選考方法は一般受験の場合と同じで、第1次試験で教職・一般教養試験を免除し、専門教科・科目の試験は課す							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			-				0
	平成21年度受験者数(名)			3				3

宮崎県

選考名称	スポーツ・芸術の分野に係る特別選考試験	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、スポーツ分野において、大学等に在学中又は社会人として全国レベルの大会以上の競技会で優秀な成績を収めた人。 一般選考と同じ受験資格を有し、分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクール、全国レベルの展覧会等において優秀な成績を収めた人。							
選考方法・試験内容	面接、論文。合格者は一般試験の合格者と共に2次試験を受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)		1	6	1			8

札幌市

実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		2					2
※ 資格要件等については北海道に同じだが、採用者数及び受験者数は北海道と札幌市で計上。 ※ 平成20年度名簿搭載者が1名いたが、採用辞退したため、0名と記載。								

横浜市 (再掲: 英語の資格による特別選考)

選考名称	特別選考Ⅰ(スポーツ・学芸・英語力等特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、スポーツ・芸術・学芸・英語力等の分野において、国際的又は全国的規模の大会等(競技会・コンクール・展覧会・英語資格検定等)で、特別に優秀な実績・資格を持つ人及びこれに準じる人。ただし、スポーツに関わる実績については、加盟競技団体等として財団法人日本体育協会に承認を受けている種目であり、かつ、当該実績内容が横浜市公立学校における部活動指導等の学校教育活動に資すると認められる種目の実績とする。実績・資格については、平成10年4月1日以降のものとする。							
選考方法・試験内容	実績・資格の内容を客観的に示す書類の写しと、論作文「保護者や子ども、社会から信頼される教員になるために、私が行う3つの具体的行動」1200字以内を申込時に提出。相当と認められた人は、特別選考Ⅰ合格者として第一次試験を免除。選考の結果は受験票の発送をもって通知する。特別選考Ⅰに合格しなかった人は、一般選考として第一次試験を受験することができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	4	15	-	0	0	-	19
	平成21年度受験者数(名)	27	82	-	1	3	-	113

新潟市

選考名称	スペシャリスト特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、以下のいずれかの条件に該当する人。 スポーツの分野において、世界大会レベルの競技会出場経験があり、優秀な成績を収めた人。 音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール等において優秀な成績を収めた人。							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(Ⅰ・Ⅱ)を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成21年度受験者数(名)	0	0			0		0

福岡市

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、かつ以下の資格を満たす人。 スポーツ: 国際的規模の競技会に日本代表として出場した人。日本選手権大会、またはこれに準ずる全国的規模の競技会で特に優秀な成績を収めた人 芸術: 音楽、美術等の芸術分野において国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた人。または、全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な成績を収めた人							
選考方法・試験内容	募集は中・特中の音楽・美術・保健体育のみ。 選考は一般選考と別枠で行う。試験内容は1次試験では一般教養・論文。2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		24					24

(2)ウ 社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)

北海道

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>高等学校(工業、商業、英語、看護、水産)又は特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育)の教科の教育職員免許状を有しない者で、教科に関する専門的知識や技能(資格)を有し、実務経験のある者。(一般選考との併願はできない。)</p> <p>1 昭和34年4月2日以降に生まれた者</p> <p>2 高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者</p> <p>3 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者</p> <p>4 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者</p>							
選考方法・試験内容	証明機関の発行する資格(技能)証明書及び実務経験に係る職歴証明書等により専門的知識や技能(資格)を確認し、第一次検査の専門検査を免除(英語の場合は、実技検査を含む。)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			4				4
	平成21年度受験者数(名)			4	4			8

青森県

(再掲:英語の資格による特別選考)

選考名称	社会人特別選考	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>受験教科(科目)に相当する高等学校教諭普通免許状を有する場合は①②のいずれにも該当する者、有しない場合は①から③のすべてに該当する者。</p> <p>① 出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者</p> <p>② 出願時に以下の資格等を有する者</p> <p>ア 高等学校英語:実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL600点以上のいずれか</p> <p>イ 高等学校水産(情報通信):電波法に定める第1級総合無線通信士又は第1級陸上無線技術士の資格</p> <p>③ 以下の要件を満たす者</p> <p>ア 高等学校英語:5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること。</p> <p>イ 高等学校水産(情報通信):5年間以上水産、商船、工業のいずれかに関連する実務経験を有すること。</p>							
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験、専門教科試験、集団討論試験を免除し、第一次試験において個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	-
	平成21年度受験者数(名)	-	-	1	-	-	-	1

岩手県

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める・若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>中学校又は高等学校を志願する者。</p> <p>社会人:民間企業等従事者で、5年以上の勤務実績があり、教科・科目に関する高度な専門知識又は技能を有するもの。</p> <p>※ 普通免許状を有していなくても受験が可能だが、第2次審査合格後、教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受けることが必要。</p>							
選考方法・試験内容	面接試験、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		1	17				18

秋田県 (再掲: 英語の資格による特別選考)

選考名称	社会人特別選考・高等学校教諭等(外国語・情報)	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満49歳未満					
資格要件	外国語: 英語、韓国朝鮮語、中国語について専門的知識及び技能を有し、民間企業・官公庁等での該当言語を使用した実務経験が10年以上の者 情報: 第一種情報処理技術者またはそれと同等以上の資格を有し、民間企業・官公庁等での実務経験が10年以上の者 (教員免許状の所有を前提としない選考)							
選考方法・試験内容	1次選考 総合教養、小論文、面接 2次選考 模擬授業、小論文、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)			8				8

山形県

選考名称	特別選考 I (社会人特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、志望する教科・科目と関連する実務経験(学校教育に直接携わる業務を除く。)を5年以上継続して有する者又は有する見込みの者							
選考方法・試験内容	教職教養・一般教養の代わりに、小論文を課す。それ以外は、一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		1	3	0			4
	平成21年度受験者数(名)		0	5	0			5

茨城県

選考名称	社会人特別選考	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	高等学校卒業以上の学歴及び看護師免許証を有し、看護と関連する実務経験(学校教育実務を除く)を、平成20年4月1日現在、3年以上有する者							
選考方法・試験内容	(1) 選考試験は一般選考と同様に行う。 (2) 教員免許を有しない者で「社会人特別選考」に合格した者については、採用候補者名簿登載後、教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			0				0
	平成21年度受験者数(名)			4				4

群馬県

選考名称	社会人特別選考試験	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	(1) 昭和34年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた人 ただし、高等学校の農業、工業、商業に出願する人は、昭和34年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた人 (2) 平成21年3月31日までに、正規職員として、同一の民間企業又は官公庁等(ただし、いずれも教育に関する事業を除く。)に継続して10年以上勤務した経験があり、出願する教科等に関する高度の専門的な知識若しくは技能又は勤務経験等を通して身に付けた優れた経営的能力を有する人 (3) 年齢を除き、受験する種別の出願資格を満たしている人 ただし、高等学校の農業、工業、商業に出願する人については、特別免許状の取得条件を満たす人							
選考方法・試験内容	第1次選考のうち筆記試験の「教科教育法に関する科目(小)」、「教科に関する科目(中・高)」、「特別支援教育に関する科目(特支)」又は「養護に関する科目(養)」のみの受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成21年度受験者数(名)	2	2	10	2	0	0	16

埼玉県

選考名称	社会人特別選考(高校・H21年度採用は「看護」、H20年度採用は「自立活動」)	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>看護を希望する者のうち、次のア、イ、ウの要件をすべて満たす者。 ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。 イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。 ウ 次の①または②のいずれかの経験を有し、その勤務経験により看護に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者。 ① 国公立及び民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む)として通算5年以上の勤務経歴 ② 国公立及び民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む)として通算3年以上の経験を有し、かつ、看護に関する教職としての経験を通算して5年以上の勤務経歴 ※ 勤務期間については、志願する日までに常勤または常勤に準ずる職員として勤務した期間をもって通算するものとする。 なお、看護の高等学校教諭普通免許状を有しない者も受験が可能。</p>							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			2				2

神奈川県

選考名称	特別選考【社会人経験者】(5)と合同で実施	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	<p>一般選考の受験資格を満たし、さらに下記のいずれかに該当する人 ・法人格を有する民間企業、官公庁等で常勤社員・職員としての勤務(直近7年間で継続して5年以上)を有する人 ・青年海外協力隊等、2年以上海外での国際貢献活動の経験を有する人</p>							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験のうち一般教養試験を免除し、論文試験を行う							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5	4	3				12
	平成21年度受験者数(名)	31	56	92	23	6		208

富山県

選考名称	特別選考 社会人経験	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	約15名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>受検種目・受験教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成21年3月31日までに取得見込みであり、法人格を有する同一の民間企業、官公庁等において正社員又は正規職員(正規教諭を含む)として平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に継続して5年以上の勤務経験を有する者。</p>							
選考方法・試験内容	<p>第1次検査・・・小論文、個人面接(一般選考では専門、教養の筆答検査) 集団面接(一般選考と同じ) 第2次検査・・・専門筆答検査、教養論述問題、適性検査、実技検査(一般選考と同じ)</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	9	3		0	0		12
	平成21年度受験者数(名)	20	42		4	3		69

石川県

選考名称	教育職員普通免許状を(看護)を有しない看護受験者を対象とした選考	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考の受験資格(教員免許に関する条件を除く)を満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の看護受験者のうち、看護師免許証を有し、かつ、看護師、保健師又は助産師として、平成20年3月31日現在、5年以上業務に従事した者。							
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容と同じとする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)			0				0

長野県

選考名称	民間企業等経験者を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	「採用予定者の1割程度」(要項)	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有する者で、民間企業・教職以外の公務員・NPO等の経験が平成21年3月31日現在で3年以上ある者。							
選考方法・試験内容	筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人-複数回実施)、教科・学校種により実技有り。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5	0	4	1	0	-	10
	平成21年度受験者数(名)	33	59	39	9	13		153

愛知県

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	(1)「小学校」及び「中学校」の受験区分で「一般選考」の受験資格に加えて、次のア又はイの要件を満たすことが必要。 ア 出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成20年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 イ 青年海外協力隊として、平成15年4月1日から平成20年3月31日までの5年間に於いて、2年以上の派遣実績を有する人。 (2)「高等学校・数学」「高等学校・理科」「高等学校・工業」の受験区分・教科で上記(1)の(ア)の条件を満たすこと。現時点では受験区分に対応する普通免許状を所有しなくても受験できるが、合格した後、その教科の特別免許状の申請をして取得することが必要。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、1次試験は論文試験と口述試験を行う。2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	10	7	3	0	0	0	20
	平成21年度受験者数(名)	39	71	20	0	0	0	130

三重県

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>[1]教育職員免許状を有しない人(高等学校「看護」)については次の(1)～(6) [2]申し込む校種、教科等に応じた教育職員免許状を有する人については次の(1)～(4)</p> <p>(1)学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人 (2)昭和44年4月2日以降に生まれた人 (3)申込時に勤務している民間企業・官公庁等(教育の事業に従事する人を除く)に継続して5年以上常勤の職として従事している人。ただし、系列会社等への転勤は同一事業所とみなします。 (4)社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている人 (5)勤務経験により、出願する教科に関する専門的な知識経験または技能を有する人 (6)看護師免許を現に有する人</p>							
選考方法・試験内容	<p>(1)第1次選考試験の「筆答試験(教養)」を「小論文」に代えて実施する。 他の筆答試験(専門)、適性検査、集団面接は一般選考と同様に受験する。 (2)第1次選考試験の合格者は、一般選考と同様、第2次選考試験のすべてを受験する。</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	1	2	2				5

京都府

選考名称	スペシャリスト特別選考(A区分/小学校・中学校及び高等学校の数学・理科 B区分/高等学校工業)	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	A区分・B区分あわせて10名以内	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	<p>次に掲げる事項のすべてに該当する方</p> <p>【A区分】</p> <p>①民間企業、大学又は研究機関等における勤務経験が通算して5年以上ある方(国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校における勤務経験を除く。)で、その勤務経験により、志願する校種等及び教科(科目)に関する専門的な知識・経験又は技能を有し、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている方 ②昭和34年4月2日以降に生まれた方 ③地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない方 ④志願する校種等及び教科(科目)の普通免許状を現に有する方又は平成21年3月31日までに取得見込みの方(第2希望の場合を含む。) ⑤府内どこにでも勤務できる方 ⑥自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに教員としての職務の遂行が可能な方</p> <p>【B区分】</p> <p>①工業の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する方 ②特別免許状の授与条件を満たす方 ③【A区分】の①、②、③、⑤、⑥に同じ</p>							
選考方法・試験内容	<p>第1次試験 … 小論文、個人面接(一般教養及び専門教科を免除) 第2次試験 … 個人面接、教育実践力テスト(実技試験免除)</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	1	3	-	-	-	4
	平成21年度受験者数(名)	0	4	24	-	-	-	28

大阪府

選考名称	社会人経験者対象の選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成10年4月1日から平成20年3月31日までに通算5年以上あること。勤務経験には、独立法人国際協力機構法に規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。ただし、「教育学習支援業」における勤務期間は含まない。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ(1次:面接、択一式テスト、2次:面接、筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ))							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	31
	平成21年度受験者数(名)	49	77	86	12	19	4	247

兵庫県

選考名称	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	・平成21年3月31日現在、休職・育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験も含む) ・当該教科の教員として職務を行うのに必要な高い専門的知識・技能を有する者							
選考方法・試験内容	一般の試験と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			5				5
	平成21年度受験者数(名)			2				2

奈良県

選考名称	社会人を対象とした特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	(1)家庭(製菓)を志望する人は、製菓衛生師免許取得後、3年以上の実務経験を有する人。 (2)農業、工業(機械・電気)を志望する人は、3年以上の実務経験を有する人。 (3)福祉を志望する人は、介護福祉士資格取得後、5年以上の実務経験を有する人。 (4)特別支援学校・自立活動(肢体不自由教育)を志望する人は、看護師免許取得後、3年以上の実務経験を有する人。 ※実務経験は、公立学校以外の事業所等における、平成21年3月21日までの常勤のものとする。 受験する校種、教科(科目)の教諭の普通免許状の有無は問わない。ただし、相当の教諭普通免許状を所有しない場合は、次の条件①及び②に該当することが必要。 ① 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する人。 ② 教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人。							
選考方法・試験内容	出願時に自己推薦文(2000字以内)を提出する。1次試験:専門科目、集団面接、個人面接。2次試験:論述試験(教育時事、論作文)、個人面接。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			7	2			9

岡山県

選考名称	特別選考D[社会人を対象とした特別選考(高等学校・看護)]	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)として5年以上の実務経験を有する者。ただし、高等学校教諭普通免許状(看護)を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			10				10

山口県①

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満39歳未満					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、以下の要件を満たすもの。 現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの</p>							
選考方法・試験内容	<p>第一次試験:面接A、面接B 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、面接Ⅱ</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			0				0
	平成21年度受験者数(名)	2	7	5				14

山口県②

選考名称	看護科・理療科教諭特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	各1名	年齢制限	満39歳未満					
資格要件	<p>次の①又は②に該当する者 ① 高等学校又は特別支援学校の受験教科の教諭の普通免許状を有する者 ② 当該普通免許状の取得又は取得見込みはないが、次に示す実務経験等を有し、その実務経験により出願する教科に関する専門的な知識経験又は技術を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者 ・看護科教諭の志願者にあつては、看護師免許証を有し、出願時点で、看護師、保健師又は助産師として5年以上の実務経験を有する者 ・理療科教諭の志願書にあつては、あん摩マッサージ指圧師免許証、はり師免許証及びきゆう師免許証をすべて有し、出願時点で、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゆう師として通算5年以上の実務経験</p>							
選考方法・試験内容	<p>第一次試験:面接A、面接B 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、面接Ⅱ</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2	1			3
	平成21年度受験者数(名)			3				3

徳島県

選考名称	社会人を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有する者で、以下のいずれかに該当する者。 ① 民間企業等で平成20年3月末現在、通算して5年以上勤務し、その勤務経験により、出願する教科等に関する高度の専門的な知識又は技能を有する者。 ② ①に該当し、高等学校教諭の農業、工業、商業、又は看護に出願を希望する者のうち、特別免許状の取得条件を満たす者(当該教科の普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できる)。</p>							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、特別選考面接審査有り、他は一般選考に同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			11		1		12

香川県

選考名称	特別選考Ⅰ①	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	<p>中学校、高等学校及び特別支援学校の志願者のうち民間企業等(教育の事業を除く。)において通算3年以上の勤務経験を有する者で、その勤務経験により、出願する教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者</p> <p>特別免許状の授与資格を有する場合は、普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できるものとする。</p>							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		0	1	0			1
	平成21年度受験者数(名)		3	15	1			19

高知県

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	<p>高等学校・工業・高等学校卒業後、平成21年3月31日現在で、出願する教科・科目と関連する職務経験が通算10年以上ある者。</p> <p>普通免許状を有していなくても受験が可能。</p>							
選考方法・試験内容	第1次審査筆記審査のうち、教職・一般教養審査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			3				3
	平成21年度受験者数(名)			2				2

佐賀県

選考名称	社会人特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満59歳未満					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、民間企業、官公庁(教職以外)において、一つの職場で5年以上の職務経験があり(平成20年3月31日現在)、受験教科(科目)について専門的な知識・技能を有し、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者</p>							
選考方法・試験内容	一次選考における一般・教職教養試験を免除する。一次選考における他の試験や実技等及び二次選考については、原則一般選考と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	0	1	0	0		1
	平成21年度受験者数(名)	0	0	3	0	0		3

長崎県

選考名称	社会人特別採用選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	若干名	年齢制限	満45歳未満					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、民間企業等(私立の小・中・高・特別支援学校を除く)において、平成13年4月1日以降平成20年5月31日までに通算5年以上の勤務経験を有する者。ただし、高等学校看護教諭志願者においては、学校等の教育機関での実務経験も勤務経験とみなす。</p> <p>高等学校看護教諭については、教諭普通免許状(看護)を有しない者も受験できる。教員免許状を有しない高等学校看護教諭志願者は、採用までに教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。ただし、看護師免許状を有し、教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しないこと。</p>							
選考方法・試験内容	選考方法は一般受験の場合と同じで、第1次試験で教職・一般教養試験を免除し、専門教科・科目の試験は課す							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1		1	1			3
	平成21年度受験者数(名)	9	13	10	7	2		41

大分県

選考名称	特別選考Ⅱ(社会人特別選考)	新規	特別免許状の活用:	有				
募集人員	2名	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	(1) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しないこと (2) 県内のどこにでも赴任できる者 (3) 次のア又はイに該当する者 ア 志望種別に応ずる教諭普通免許状を現に有している者又は平成21年3月31日までに取得見込みの者 イ 継続的な社会教育等の研究・活動体験を有する者で、上記アに準ずると認められる者 (4) 昭和34年4月2日以降に生まれた者 (5) 民間企業・官公庁等において常勤の職(国公立学校・学習塾・予備校等の教育職を除く。)として現在5年以上継続して勤務している者							
選考方法・試験内容	第1次試験は、教養試験、作文、専門試験及び面接(集団討論)に代えて、小論文、面接(個人)を実施する。(水泳及び実技試験(当該教科受験者)は実施する。) 第2次試験は、一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	3	6					9

宮崎県

選考名称	社会人を対象とした特別選考試験	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、現に民間企業・官公庁等に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有する人で、その勤務経験により出願する教科等に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている人。							
選考方法・試験内容	面接、論文。合格者は一般試験の合格者と共に2次試験を受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)				1			1

札幌市

実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
※ 資格要件等については北海道に同じだが、採用者数及び受験者数は北海道と札幌市で計上。								

川崎市

選考名称	特別選考Ⅲ (社会人・青年海外協力隊員経験者特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、民間企業または官公庁等での常勤社員・職員としての職務経験が、平成10年4月1日から平成20年3月31日までに通算3年以上勤務経験(国公立学校での教員経験を除く)を有する人(休職期間等勤務の実態がない期間は含みません)で、必要とする職歴証明を提出できる人							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、教科専門試験、個人面接 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	3	4			1		8
	平成21年度受験者数(名)	26	39			7		72

横浜市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、法人格を有する同一の民間企業の正社員又は同一の官公庁等の正規職員としての継続勤務歴が、平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に5年以上の人							
選考方法・試験内容	一次試験の試験内容が、①指導案作成60分 ②論文試験60分となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	8	15	-	2	0	-	25
	平成21年度受験者数(名)	39	79	-	3	7	-	128

新潟市

選考名称	スペシャリスト特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>受検資格を満たしている人で、民間企業、大学又は研究機関等の正規職員として、5年以上(原則1箇所)の勤務経験があり、以下の例に該当する人。</p> <p>例1 仕事一筋に精勤し、専門的な知識・経験又は技能を有する人(職歴証明書添付)</p> <p>例2 長年に渡って、教育に関する研究や少年少女への文化及び体育指導を継続してきた人(職歴証明書に加え、研究機関や団体が上記を証明する文書添付)</p> <p>例3 長年に渡って、地域貢献等のボランティア活動を継続してきた人(職歴証明書に加え、団体が上記を証明する文書添付)</p> <p>例4 看護師資格やカウンセリング資格を有し、病院勤務や実践活動を継続してきた人(職歴証明書に加え、団体が上記を証明する文書添付)</p>							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	0	3					3
	平成21年度受験者数(名)	1	4			1		6

大阪市

選考名称	社会人経験者等対象選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、次の①または②に該当すること。</p> <p>① 平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員または正規職員としての勤務経験が、通算で5年以上ある人。</p> <p>② 平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に、独立行政法人国際機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が、通算で5年以上ある人。</p>							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	4	5	1	0	0	0	10
	平成21年度受験者数(名)	17	24	5	12	6	0	64

堺市

※ 大阪府に同じ。

福岡市

選考名称	社会人等特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、次の①または②に該当すること。</p> <p>① 法人格を有する同一の民間企業の正社員、又は同一の官公庁等の正規職員として、平成10年4月1日～平成20年5月31日の間に継続して5年以上の勤務経験がある人。</p> <p>② 独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員として、平成10年4月1日～平成20年5月31日の間に2年以上の派遣実績がある人。</p>							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行う。試験内容は1次試験では一般教養・論文。2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	13	27		2	3		45

(2)エ 教職経験による特別選考

福島県

選考名称	特別選考Ⅰ(今年度より名称変更)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50未満					
資格要件	教諭として現職にある者又は教諭として1年以上の教職経験のある者 満35歳以上50歳未満の者							
選考方法・試験内容	小論文、個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1	1	1	1			4
	平成21年度受験者数(名)	15	14	22	12	4		67

群馬県

選考名称	現職教員特別選考試験	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	出願する校種と同じ校種の国公立学校の正規教員として現に勤務し、平成20年3月31日現在、休職及び育児 休業の期間を除き、3年以上在職する人							
選考方法・試験内容	第1次選考のうち「一般教養・教職に関する科目」を免除し、「教科教育法に関する科目(小)」「教科に関する科目(中・高)」「特別支援教育に関する科目(特支)」「養護に関する科目(養)」、「実技(中・高)」及び「小論文」の受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	15	7	6	3			31

埼玉県

選考名称	経験者特別選考(小、中、養護教員)、臨時的任用教員経験者特別選考(全志願区分:小、中、高、養護教員)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>本採用教員としての教職歴が平成20年3月31日現在通算3年以上(経験者特別選考)</p> <p>埼玉県内の公立学校(さいたま市立小・中・特別支援学校(小・中学部)を除く)及び同県内国立大学法人が設置する学校における常勤の臨時的任用教員経験が、直近3年間で12か月以上ある者。但し、次の各号に掲げる要件に留意すること。</p> <p>①上記の臨時的任用教員経験期間は、公立小・中・高・特別支援学校での経験とする。 なお、埼玉県内の市町村で単独に採用する常勤の教員経験期間も対象とする。</p> <p>②直近3年間とは、平成17年4月1日から平成20年3月31日の期間とする。</p> <p>③経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば、当該月は経験月とする。</p> <p>④経験期間は連続している必要はない。また、異校種の経験も合算することができる。 (臨時的任用教員経験者特別選考)</p>							
選考方法・試験内容	第1次試験免除(経験者特別選考) 第1次試験の一般教養・教職科目を免除(臨時的任用教員経験者特別選考)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	56	55			12		123
	平成21年度受験者数(名)	776	723	335		110		1944

神奈川県

選考名称	特別選考 【正規教員経験者】【臨時的任用職員経験者】	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60未満					
資格要件	・公立学校の正規教員として2年以上の勤務経験を有する人 ・県内の公立学校において臨時的任用職員の勤務経験(直近4年間のうち2年間)を有する人							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験を免除し、論文試験を行う							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	79	73	35		15		202
	平成21年度受験者数(名)	246	203	189	85	44		767

山梨県

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	①過去において山梨県又は他の都道府県の公立の小・中・高・特支の教諭もしくは養護教諭として3年以上正規教員として勤務した経験を有する者。 ②現に他の都道府県・指定都市の公立の小・中・高・特支の教諭もしくは養護教諭の職に有る者。 ③平成16年4月1日以降、山梨県の公立の小・中・高・特支の臨時的任用教職員として平成21年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験(見込も含む)がある者。 ①～③のどれかに該当する場合。 県内の場合は在職経歴書で確認。県外の場合は任命権者の教育委員会発行の履歴証明書で確認。							
選考方法・試験内容	一次検査において一般・教職教養検査を免除。他は、一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	16	25	10	8	2		61
	平成21年度受験者数(名)	56	49	39	13	5		162

長野県

選考名称	教職(含常勤・非常勤講師)経験者を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	「採用予定者の3割から5割程度」(要項)	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	学校、幼稚園で教諭・講師の経験が、平成21年3月31日現在で3年以上ある者(講師は、常勤・非常勤を問わない)							
選考方法・試験内容	筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人一複数回実施)、教科・学校種により実技有り。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	30	22	28	3	4		87
	平成21年度受験者数(名)	313	252	294	46	50		955

愛知県①

選考名称	現職教諭を対象とした特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	「一般選考」の受験資格に加えて、国立大学法人が設置する学校又は公立学校の正規任用の教諭又は養護教諭の職にあり、平成20年4月1日現在において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、1次試験を免除。2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	26	8	15	5	3		57
	平成21年度受験者数(名)	57	22	41	11	3		134

愛知県②

選考名称	元教諭・講師経験者を対象とした特別選考		新規	特別免許状の活用:		無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	満60歳未満				
資格要件	<p>「一般選考」の受験資格に加えて、次の(1)及び(2)の要件を満たすことが必要。</p> <p>(1) 次の(ア)又は(イ)において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。ただし、(ア)の勤務実績と(イ)の勤務実績は合算することができる。</p> <p>(ア) 元教諭に対する勤務実績は、平成20年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校又は公立学校で正規任用の教諭又は養護教諭として勤務実績を有すること。</p> <p>(イ) 講師経験者に対する勤務実績は、平成13年4月1日から平成20年3月31日までの7年間に於いて、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)で講師(非常勤を除く。)又は養護教諭として勤務実績を有すること。</p> <p>(2) 平成20年4月1日以降に、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の職員(正規任用の教諭及び養護教諭を除き、非常勤講師等を含む。)として勤務し、出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人。</p>							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、1次試験を免除。2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	71	31	20	26	18		166
	平成21年度受験者数(名)	168	89	78	72	39		446

三重県

選考名称	講師等経験者を対象とした特別選考		従来から	特別免許状の活用:		無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
資格要件	<p>(1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人</p> <p>(2) 要項に定める教育職員免許状を有する人または平成21年3月31日までに取得見込の人</p> <p>(3) 昭和44年4月2日以降に生まれた人</p> <p>(4) 平成15年4月1日から平成20年3月31日までの5年間のうち、36月以上三重県教育委員会により下記のアまたはイの職種で任用されていた人</p> <p>ア 小学校、中学校、高等学校または特別支援学校教諭申込者においては、講師(非常勤を除く)</p> <p>イ 養護教諭申込者においては、養護助教諭(非常勤を除く)</p>							
選考方法・試験内容	<p>(1) 受験資格の有無は、「教職歴申告書」を参考に三重県教育委員会が教職経験年数を確認する。</p> <p>(2) 第1次選考試験の「筆答試験(教養)」を「人物証明書」による選考に代えて実施する。他の筆答試験(専門)、適性検査、集団面接は一般選考と同様に受験する。</p> <p>(3) 第1次選考試験の合格者は、一般選考と同様、第2次選考試験のすべてを受験する。</p> <p>(4) 講師等経験者を対象とした特別選考の対象とならなかった人は、一般選考として受験する。</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							55
	平成21年度受験者数(名)							341

大阪府

選考名称	教職経験者等対象の選考(ア現職教諭、イ常勤講師経験者、ウ実習助手・寄宿舎指導員)		従来から	特別免許状の活用:		無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	①基本的年齢制限と同じ ②満60未満				
資格要件	<p>① 現職教諭: 平成21.3.31までに公立学校で通算2年以上の在職経験かつ、H20.4.1現在在職していること。</p> <p>② 常勤講師: H19.4.1~H20.3.31までの間に大阪府内の公立学校において講師(非常勤除く)の勤務経験がある人で、H20.3.31までに通算5年以上の勤務経験があること。</p> <p>実習助手・寄宿舎指導員: 大阪府内の公立学校における実習助手又は寄宿舎指導員として、平成20年4月1日現在、在職しているとともに、平成20年3月31日までに同職の勤務経験が通算5年以上あること。</p>							
選考方法・試験内容	現職教諭: 1次: 面接、2次: 面接 常勤講師、実習助手・寄宿舎指導員: 1次: 面接、小論文、2次: 面接、筆答、実技(必要教科のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-		137
	平成21年度受験者数(名)	323	194	155	26	55	1	754

岡山県

選考名称	特別選考E [県外現職教諭等を対象とした特別選考]	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	現に県外の公立学校の教諭(正規教員)又は養護教諭(正規教員)の職にある者であり、かつ、本県又は県外の公立学校の教諭(正規教員)又は養護教諭(正規教員)として、5年以上の勤務経験がある者。ただし、受験する校種・職種と同一な勤務経験に限る。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	9	1	4		1		15

広島県

選考名称	現職教員を対象とした特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	・一般選考の要件をすべて満たす者。 ・国公立学校における正規任用教員(広島県、広島市を除く)として、H20. 3. 31までに通算して3年以上の勤務経験を有する者。							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	32	15	11	1			59

徳島県①

選考名称	現職教員を対象とした選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	現に他の都道府県に所在する国公立の小・中・高等学校・中等教育学校又は特別支援学校に平成20年3月現在3年以上在籍する者							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、特別選考面接審査有り。他は一般選考に同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	35	7	1	3			46

徳島県②

選考名称	本県での教職経験を有する者を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	過去において本県に所在する公立の小・中・高等学校又は特別支援学校の教諭又は養護教諭の職にあった者							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、特別選考面接審査有り。他は一般選考に同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)		1					1

香川県

選考名称	特別選考Ⅰ②、特別選考Ⅰ③	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50未満					
資格要件	特別選考Ⅰ②: 過去において本県又は他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭又は養護教諭の職にあった者 特別選考Ⅰ③: 現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭又は養護教諭の職にある者							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	7		1				8
	平成21年度受験者数(名)	43	22	13	2	1		81

さいたま市①

選考名称	経験者特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	国公立の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)において、本採用教員として3年以上の勤務経験を有する者。ただし、養護教諭については、国公立高等学校経験者も含む。							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	2	1			1		4
	平成21年度受験者数(名)	12	7			4		23

さいたま市②

選考名称	臨任教員勤務実績特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員として、平成18年4月1日から平成20年3月31日までの2年間に於いて、通算12ヶ月以上(通算340日以上)の勤務実績を有する者							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	38	22			1		61
	平成21年度受験者数(名)	122	155			15		292

川崎市①

選考名称	特別選考Ⅰ(正規教員経験者特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60未満					
資格要件	国公立学校において正規教員として、平成20年3月31日現在、2年以上(休職・育児休業等の期間を除く)勤務した経験を有する人 ※・小学校受験者⇒「小学校」、「特別支援学校小学部」における教職歴 ・中学校受験者⇒「中学校」、「特別支援学校中学部または高等部」、「高等学校」における教職歴 ・養護教諭⇒校種にかかわらず、養護教諭としての教職歴							
選考方法・試験内容	一次試験: 小論文、個人面接 二次試験: 一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	11	4			1		16
	平成21年度受験者数(名)	33	29			6		68

川崎市②

選考名称	特別選考Ⅱ (臨時的任用職員・非常勤講師経験者特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	川崎市立学校で臨時的任用職員又は非常勤講師【週24時間以上】として、平成20年3月31日現在、直近3年間に通算11月以上勤務した経験を有する人 ※・小学校受験者⇒「小学校」、「特別支援学校小学部」における教職歴 ・中学校受験者⇒「中学校」、「特別支援学校中学部または高等部」、「高等学校」における教職歴 ・養護教諭⇒校種にかかわらず、養護教諭としての教職歴							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、集団面接 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	28	32	2		2		64
	平成21年度受験者数(名)	98	112			13		223

横浜市

選考名称	特別選考Ⅱ(教職経験者特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	受験区分に該当する国及び地方公共団体が設置する学校における正規教員又は臨時的任用職員、私立学校における正規教員の教職歴が、平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に通算2年以上の人							
選考方法・試験内容	一次試験の試験内容が、①指導案作成60分 ②論文試験60分となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	147	104	-	23	9	-	283
	平成21年度受験者数(名)	268	342	-	30	42	-	682

新潟市

選考名称	教職経験者特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	受検資格を満たしている人で、国・公・私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の正規教員として5年以上の勤務経験がある人。							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	3	3					6
	平成21年度受験者数(名)	8	9			3		20

堺市

※ 大阪府に同じ。

広島市

※ 広島県に同じ。

福岡市

選考名称	教職経験者特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	平成10年4月1日～平成20年5月31日の間で、国及び地方公共団体が設置する学校において、正規教員として通算3年以上(又は常勤講師として通算5年以上)の勤務経験がある人(受験する校種、職種及び教科と同一の場合に限る。)							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行う。試験内容は1次試験では一般教養・論文。2次試験では一般選考と同一。なお実施している特別選考の中で、「教職経験者特別選考」のみ一般選考との併願が可能。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	66	51		19	6		142

(2)才 国際貢献活動経験による特別選考

埼玉県

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考(全志願区分:小、中、高、養護教員)			新規	特別免許状の活用:	無		
募集人員	一般採用見込み数に含める			年齢制限	基本的年齢制限と同じ			
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、青年海外協力隊または日系社会青年ボランティアとして2年以上の国際貢献活動経験を有する者							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	6	8	10				24

神奈川県 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	特別選考【社会人経験者】	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、さらに下記のいずれかに該当する人 ・法人格を有する民間企業、官公庁等で常勤社員・職員としての勤務(直近7年間で継続して5年以上)を有する人 ・青年海外協力隊等、2年以上海外での国際貢献活動の経験を有する人							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験のうち一般教養試験を免除し、論文試験を行う							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	5	4	3				12
	平成21年度受験者数(名)	31	56	92	23	6		208

富山県

選考名称	特別選考 国際貢献	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	受検種目・受験教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成21年3月31日までに取得見込みであり、青年海外協力隊として、継続して2年以上の派遣実績を有する者。							
選考方法・試験内容	第1次検査…小論文、個人面接(一般選考では専門、教養の筆答検査) 集団面接(一般選考と同じ) 第2次検査…専門筆答検査、教養論述問題、適性検査、実技検査(一般選考と同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2		1			3
	平成21年度受験者数(名)	1	5					6

長野県

選考名称	民間企業等経験者を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、青年海外協力隊などの国際貢献活動を平成21年3月31日現在で2年以上経験している者							
選考方法・試験内容	筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人一複数回実施)、教科により実技有り。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1						1
	平成21年度受験者数(名)	1	4	5		1		11

愛知県 (再掲: 社会人特別選考)

選考名称	社会人特別選考		従来から	特別免許状の活用:	無※			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
資格要件	<p>(1)「小学校」及び「中学校」の受験区分で「一般選考」の受験資格に加えて、次のア又はイの要件を満たすことが必要。 (ア)出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成20年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (イ)青年海外協力隊として、平成15年4月1日から平成20年3月31日までの5年間に於いて、2年以上の派遣実績を有する人。 (2)「高等学校・数学」「高等学校・理科」「高等学校・工業」の受験区分・教科で上記(1)の(ア)の条件を満たすこと。現時点では受験区分に対応する普通免許状を所有しなくても受験できるが、合格した後、その教科の特別免許状の申請をして取得することが必要。 ※ 青年海外協力隊の経験では特別免許状は活用しないが、(1)(ア)、(2)については特別免許状を活用。</p>							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、1次試験は論文試験と口述試験を行う。2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	10	7	3				20
	平成21年度受験者数(名)	39	71	20				130

大阪府 (再掲: 社会人特別選考)

選考名称	社会人経験者対象の選考		従来から	特別免許状の活用:	無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成10年4月1日から平成20年3月31日までに通算5年以上あること。 勤務経験には、独立法人国際協力機構法に規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。ただし、「教育学習支援業」における勤務期間は含まない。</p>							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ(1次:面接、択一式テスト、2次:面接、筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ))							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	31
	平成21年度受験者数(名)	49	77	86	12	19	4	247

さいたま市

選考名称	青年海外協力隊等派遣特別選考		新規	特別免許状の活用:	無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアの国際貢献活動に従事したことのある者で、平成15年4月1日から平成20年3月31日までの5年間に於いて、通算2年以上の派遣経験を有する者</p>							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	1	1					2

川崎市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員経験者特別選考)	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、独立行政法人国際協力機構法に基づく青年海外協力隊員として、平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に2年以上の派遣実績(派遣期間)のある者で、派遣の証明書を提出できる人(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、教科専門試験、個人面接 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)		4					4

横浜市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に2年以上の派遣実績(派遣期間)のある人							
選考方法・試験内容	一次試験の試験内容が、①指導案作成60分 ②論文試験60分となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	7	2	-	1	1	-	11
	平成21年度受験者数(名)	7	19	-	2	1	-	29

京都市

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	10名以内	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	①一般選考の各校種の年齢制限に該当すること ②希望する校種・教科の普通免許状を有すること、又は、21年4月1日までに取得見込であること ③地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない方 ④独立行政法人国際協力機構法に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして派遣実績を有する方							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般・教職教養試験に替えて、論文試験を実施。その他は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	2	2					4
	平成21年度受験者数(名)	2	10	7				19

大阪市

(再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人経験者等対象選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、次の①または②に該当すること。 ①平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員または正規職員としての勤務経験が、通算で5年以上ある人。 ②平成10年4月1日から平成20年3月31日までの間に、独立行政法人国際機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が、通算で5年以上ある人。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	4	5	1				10
	平成21年度受験者数(名)	17	24	5	12	6		64

堺市

※ 大阪府に同じ。

福岡市 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人等特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>一般選考と同じ受験資格を有し、次の①または②に該当すること。</p> <p>①法人格を有する同一の民間企業の正社員、又は同一の官公庁等の正規職員として、平成10年4月1日～平成20年5月31日の間に継続して5年以上の勤務経験がある人。</p> <p>②独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員として、平成10年4月1日～20年5月31日の間に2年以上の派遣実績がある人</p>							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行う。試験内容は1次試験では一般教養・論文。2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							
	平成21年度受験者数(名)	13	27		2	3		45

(2)カ いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考

埼玉県

選考名称	埼玉県教員養成セミナー受講生を対象とした特別選考(小学校)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	埼玉県教員養成セミナー受講生							
選考方法・試験内容	論文試験、面接試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	60						60
	平成21年度受験者数(名)	60						60

東京都

選考名称	東京教師養成塾生を対象とした特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	150名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	申込日現在、東京教師養成塾に在籍し、平成21年3月31日までに確実に卒業できる見込みの者							
選考方法・試験内容	一般選考とは別の日程で、個人面接のみ実施する。 東京教師養成塾の作成した「講座の履修状況報告書」を徴し、総合的に判定する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	94						94
	平成21年度受験者数(名)	142						142

京都府

選考名称	京都府「教師力養成講座」修了者に係る大学推薦特別選考(小学校のみ)	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	次に掲げる事項のすべてに該当する者 ①平成20年度実施の京都府「教師力養成講座」を良好な成績で修了した者 ②平成21年3月において、大学を卒業見込み若しくは修了見込みの者 ③小学校教諭の普通免許状を現に有する者又は平成21年3月31日までに確実に取得できる見込みの者 ④昭和44年4月2日以降に生まれた者 ⑤京都府公立小学校(京都市立学校を除く。)の教員を志望する者 ⑥京都府内どこにでも勤務できる者 ⑦地方公務員法第16条、学校教育法第9条及び教育職員免許法第5条第1項ただし書きの各号に該当しない者							
選考方法・試験内容	第1次試験 … 全部免除 第2次試験 … 一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	
	平成21年度受験者数(名)	35	-	-	-	-	-	35

横浜市

選考名称	特別選考Ⅳ(よこはま教師塾特別選考)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	横浜市教育委員会が設置及び運営等を行う「よこはま教師塾」の第二期生							
選考方法・試験内容	①よこはま教師塾における学習状況 ②論文試験 ③個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	91	-	-	-	-	-	91
	平成21年度受験者数(名)	103	-	-	-	-	-	103

(2)キ その他の特別選考

秋田県

選考名称	博士号保有者特別選考	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	若干名	年齢制限	満40歳未満					
資格要件	博士の学位を有する者(理学・農学・工学・教育学)。 社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者。 ※ 各校種の教諭普通免許状を所有していない場合でも受験することができる。その場合は、合格後に特別免許状の申請をし、取得する必要がある。							
選考方法・試験内容	1次選考 書類選考 2次選考 論文、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			5				5
	平成21年度受験者数(名)			12				12

埼玉県①

選考名称	情報処理に係る有資格者特別選考(高校)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、商業、情報を希望する者のうち、情報処理技術者試験((独)情報処理推進機構)第1種情報処理技術者試験合格者または、ソフトウェア開発技術者試験合格者。16年度選考以降、この特別選考を志願した者を除く。							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)			1				1

埼玉県②

選考名称	家庭(科)に係る有資格者特別選考(高校)	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、家庭(科)を希望する者のうち、調理師免許取得者							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			17				17

埼玉県③

選考名称	特別支援教育に関する特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	特別支援学校教諭1(専)種免許状及び小学校、中学校、または高等学校教諭1(専)種普通免許状を所有している者、または平成21年3月31日までに取得見込みの者。なお、特別支援学校教諭1(専)種免許状は、「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害かつ肢体不自由」のいずれかとする。							
選考方法・試験内容	第1次試験免除の専門教科(科目)試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)				30			30
	平成21年度受験者数(名)				157			157

千葉県

選考名称	養護教諭特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	若干名	年齢制限	満60歳未満					
資格要件	・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成21年3月31日までに取得見込みの者 ・昭和24年4月2日以降に生まれた者(60歳未満) ・看護師免許取得後、平成20年4月1日現在、看護師として3年以上の実務経験(正規採用に限る。休職、育児休業又は無給休暇期間は含まない。)を有する者							
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文のみを課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)					4		4
	平成21年度受験者数(名)					24		24

富山県 (再掲: 英語の資格による特別選考)

選考名称	特別選考 特定資格	従来から	特別免許状の活用:	有				
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	受検種目・受験教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成21年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者。 全ての種目・・・臨床心理士 中高英語・・・TOEIC860点以上・TOEFL PBT600点以上 CBT250点以上・実用英語技能検定1級 理科(全科目)工業(薬業系)・・・薬剤師 中高看護・・・看護師、助産師、保健師(教諭普通免許状を所有していなくても、一定の条件を満たせば出願できる) 中高情報・・・ソフトウェア開発技術者試験合格者等(他は実施要項参照) 中高工業(建築系)・・・1級建築士、特別支援教諭・・・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士							
選考方法・試験内容	第1次検査・・・小論文、個人面接(一般選考では専門、教養の筆答検査) 集団面接(一般選考と同じ) 第2次検査・・・専門筆答検査、教養論述問題、適性検査、実技検査(一般選考と同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		6		1			7
	平成21年度受験者数(名)	1	13		1			15

長野県

選考名称	発達障害児童生徒特別支援のための選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める・若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、LD(学習障害)・ADHD(注意欠陥多動性障害)・高機能自閉症等発達障害に関する専門の知識を有し、NPOや学校などで当該児童生徒に関わった経験が平成21年3月31日現在で3年以上ある者(所属長の推薦が必要)							
選考方法・試験内容	・「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。 ・「一般選考」筆記試験(一般教養・専門)、小論文、面接(集団・個人)、教科・学校種により実技有り。 「社会人を対象とした選考」筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人)、教科・学校種により実技有り。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	1	1					2
	平成21年度受験者数(名)	5	5					10

愛知県

選考名称	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)が堪能な者を対象とした選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	「小学校」「中学校」受験区分で実施。一般選考と同じ受験資格を有し、外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)が堪能(児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる語学力を有すること)である人。							
選考方法・試験内容	1次試験の口述試験に加えて、該当言語による面接を行う。それ以外は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	11	10	0	0	0	0	21
	平成21年度受験者数(名)	9	19	0	0	0	0	28

京都府

選考名称	大学推薦特別選考 (小学校、中学校数学、中学校理科)	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>次に掲げる事項のすべてに該当する者</p> <p>①平成21年3月において、小学校教諭一種(専修)免許状、中学校(数学)教諭一種(専修)免許状、中学校(理科)教諭一種(専修)免許状取得のための対象となる大学等を卒業見込み若しくは修了見込みの者</p> <p>②小学校教諭一種(専修)免許状、中学校(数学)教諭一種(専修)免許状、中学校(理科)教諭一種(専修)免許状を現に有する者又は平成21年3月31日までに確実に取得できる見込みの者</p> <p>③昭和44年4月2日以降に生まれた者</p> <p>④京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校(数学)又は中学校(理科))となることを強く志望し、京都府が求める教員像にふさわしい資質と能力を備えた者</p> <p>⑤公立学校教員としての適性を有し、健康かつ学業成績が優秀な者</p> <p>⑥京都府内どこにでも勤務できる者</p> <p>⑦地方公務員法第16条、学校教育法第9条及び教育職員免許法第5条第1項ただし書きの各号に該当しない者</p>							
選考方法・試験内容	第1次試験 … 全部免除 第2次試験 … 一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	33	14	-	-	-	-	47
	平成21年度受験者数(名)	64	44	-	-	-	-	108

大阪府①

選考名称	大学院進学者対象の選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	<p>・平成19年度採用選考テストに合格後、大学院進学を理由として申出書を大阪府教育委員会に提出し、採用を辞退していること。</p> <p>・平成20年度中に大学院修士課程を修了すること。</p> <p>平成21年4月1日までにH19テストで合格した校種教科の専修免許状が取得できること。</p>							
選考方法・試験内容	1次:免除 2次:面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	17
	平成21年度受験者数(名)	9	6	3	5	0	-	23

大阪府②

選考名称	特別支援教育を推進するための選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	出願に必要な免許状に加えて特別支援学校教諭の普通免許状を所有すること							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	
	平成21年度受験者数(名)	0	50	10	74	0	0	134

岡山県

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	平成20年度(平成19年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者であり、かつ、平成20年度、常勤講師等として岡山県の公立学校で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	107	77	40		17		241

香川県

選考名称	特別選考I④	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満50歳未満					
資格要件	一般選考と同じ受験資格を有し、現に本県公立学校において10年以上実習助手の職(臨時又は非常勤の者を除く。)にある者							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)			0	0			0
	平成21年度受験者数(名)			3	0			3

鹿児島県

選考名称	特別支援学校特別選考	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	特別支援学校教員免許状(盲・聾・養護学校の各教員免許状も可)を有する者(平成21年3月31日までに取得見込みの者も可)							
選考方法・試験内容	特別支援学校の中学部、高等部は、特別支援学校特別選考に申請のあった者の中から選考する。ただし、採用予定者数に満たない場合は、中・高等学校の各受験校種に出願した者の中から選考する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)		2	3				5
	平成21年度受験者数(名)		44	14				58

さいたま市

選考名称	小学校音楽専科特別選考	新規	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
資格要件	小学校で主に音楽の授業を行う教員を希望する者で、小学校普通教員免許状及び中学校音楽の普通教員免許状を所有している者又は平成21年3月31日までに取得見込の者							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	39						39

千葉市

※ 千葉県に同じ。

川崎市

選考名称	大学推薦	従来から	特別免許状の活用:	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	満25歳未満					
資格要件	① 川崎市立の学校教員を第1希望とする者 ② 推薦年度に大学4年生で、平成21年4月1日現在25歳未満の者 ③ 以下の基準に該当し、当該大学の学長又は学部長が推薦する者 ア 公立学校教員としての資質と力量を備え、教員志望の動機が明確な者 イ 心身ともに健康で、学業成績の優秀な者							
選考方法・試験内容	一次試験: 大学から提出された書類および小論文による選考 二次試験: 一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度採用者数(名)	25						25
	平成21年度受験者数(名)	28	3					31

堺市

※ 大阪府に同じ。

(3) 特別免許状を活用した選考

	特別選考の種類	特別免許状を活用した選考					
			特別選考				一般選考
			英語の資格	スポーツ・芸術での技能や実績	社会人特別選考	その他	
1	北海道	○	○			○	
2	青森県	○	○	○		○	
3	岩手県	○	○		○	○	
4	宮城県	—					
5	秋田県	○	○	○	○	○	○
6	山形県	—					
7	福島県						
8	茨城県	○	○			○	
9	栃木県						
10	群馬県	○	○			○	
11	埼玉県	○	○			○	
12	千葉県	—					
13	東京都						
14	神奈川県						
15	新潟県						
16	富山県	○	○				○
17	石川県	○	○			○	
18	福井県						
19	山梨県						
20	長野県						
21	岐阜県						
22	静岡県						
23	愛知県	○	○			○	
24	三重県	○	○			○	
25	滋賀県						
26	京都府	○	○	○		○	
27	大阪府						
28	兵庫県	○	○			○	
29	奈良県	○	○			○	
30	和歌山県	○	○	○			○
31	鳥取県						
32	島根県	○					○
33	岡山県	○	○			○	
34	広島県						
35	山口県	○	○			○	
36	徳島県	○	○			○	
37	香川県	○	○			○	
38	愛媛県						
39	高知県	○	○			○	
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県	○	○			○	
43	熊本県						
44	大分県	○	○			○	
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

		特別免許状を活用した選考						
		特別選考					一般選考	
特別選考の種類			英語の資格	スポーツ・芸術での技能や実績	社会人特別選考	その他		
48	札幌市	○	○			○		
49	仙台市	—						
50	さいたま市							
51	千葉市	—						
52	川崎市							
53	横浜市							
54	新潟市							
55	静岡市							
56	浜松市							
57	名古屋市							
58	京都市	○					○	
59	大阪市							
60	堺市							
61	神戸市							
62	広島市							
63	北九州市							
64	福岡市							
		25 (23)	23 (-)	2 (-)	4 (-)	21 (-)	2 (-)	3 (-)

()内は前年度の数値。また、(-)は、前年度に集計していないことを表す。

(3)ア 特別免許状を活用した特別選考

※ 実施縣市一覧は、前々ページを参照。
資格要件等の詳細は「3. 試験免除・特別選考等 (2)特別選考」を参照。

(3)イ 特別免許状を活用した一般選考の実施一覧

和歌山県	高校・看護 高等学校を卒業した者又は文部科学大臣が高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認めたと者で看護師免許を有し、5年以上の実務経験を有する者。
島根県	高等学校(農業・工業(電気)・商業)において、高等学校教諭の普通免許状を有しない者で、志望する教科に関する社会的実務経験を有する者。特別免許状で授与し、教諭で採用。
京都市	中学校・高等学校の数学・理科を受験する場合、一般選考・特別選考に関わらず、その区分の要件を満たし、短期大学士の学位または準学士の称号以上の資格を有する者は、普通免許状を有しなくても(取得見込みがなくても)受験可能。 <補足事項> ・上記受験者が合格した場合、特別免許状が授与されれば教諭として正式採用する。 ・特別免除状が授与されない場合は、臨時免許状の取得を条件として、臨時的任用の常勤講師として任用し、平成26年4月1日までに教育職員免許状を取得すれば、教諭として正式採用する。